

など関係官庁を駆けめぐったのでした。

長い間の念願を果たし得た満足感と生徒諸君と共に喜び合った感動は、今は得難い懐かしい思い出です。この二年あとの昭和四十三年三月国学院大学栃木短期大学に招かれ、芸高は退任いたしました。思えば期待されて合格した二十八名の一回生を始めとし四十年の歳月の流れと共に大きく成長し、各界で活躍される人々の姿を嬉しく思うと同時に来る五十周年に向かって、さらに大きく羽ばたくことを心から願ってやみません。

〔横組〕

〔創立四十周年記念誌〕東京芸術大学附属音楽高等学校 平成六年 二二～二二頁

## 二 校則、教育課程表、学年暦ほか

昭和二十九年三月に東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校が設置された。沿革を次に示す。

昭和二十九年三月 東京芸術大学附属音楽高等学校設置

〳〳 二十九年四月二十七日、二十八日 第一回入学試験

〳〳 二十九年四月三十日 第一回入学式、後援会として「響和会」発足

〳〳 二十九年五月六日 授業開始、同日を創立記念日と決定

〳〳 二十九年五月十八日 開校記念式典

〳〳 二十九年十二月七日 東京芸術大学附属音楽高等学校校則制定

〳〳 三十二年二月 東京芸術大学音楽学部附属音楽高校運営委員会

規則制定

〳〳 三十二年六月 第一回卒業式（於 大学奏楽堂）

〳〳 三十八年六月 創立十周年記念式典および演奏会開催

〳〳 四十一年八月 増築校舎落成

〳〳 四十九年十一月

創立二十周年記念事業

〳〳 五十五年七月

卒業生父母の会「響親会」発足

〳〳 五十九年十月

創立三十周年記念事業

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校則の制定、改正は以下のとおり。なお、丸数字の順にそれぞれの資料を後掲している。

制定または改正年月日

昭和二十九年十二月七日

① 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

学則制定

〳〳 三十一年六月十五日

② 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

学則改正

〳〳 三十二年二月八日

③ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則制定

〳〳 三十三年一月二十四日

④ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

学則改正

〳〳 四十年一月二十二日

⑤ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則改正

〳〳 四十五年六月十六日

⑥ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則改正

〳〳 四十七年四月二十日

⑦ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

学則改正

〳〳 四十七年七月二十日

⑧ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則改正

〳〳 四十八年二月十五日

⑨ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則改正

〳〳 四十九年十二月十九日

⑩ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

長選考規則制定

〳〳 五十年四月一日

⑪ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

昭和五十年九月十八日

学則改正  
⑫ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則改正

〃 五十一年一月七日

⑬ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則改正

〃 五十一年二月二十日

⑭ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校則改正

〃 五十五年十一月二十七日

⑮ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校長選考規則改正

⑯ 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則改正

⑰ 昭和二十九年制定の「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則」全文。

これに伴い「東京芸術大学学則」が改正される(昭和二十九年十二月九日)。「第十三章 附属音楽高等学校」という項目が設けられ、「第五十二条 音楽学部附属音楽高等学校を置く」、「第五十三条 附属音楽高等学校に関する規則は別に定める」が付される。

### 音楽学部附属音楽高等学校学則制定

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則を次のとおり制定したのでお知らせする。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則

(昭和二十九年四月一日施行)

### 第一章 目的

第一条 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校は、学校教育法に基いて、高等普通教育および音楽に関する専門教育を施し、あわ

せて東京芸術大学音楽学部の教育計画にしたがつて音楽教育の理論と実際を研究するとともに、音楽学部学生の教育実習を行うことを目的とする。

### 第二章 編成

第二条 生徒の定員は二〇名とする。

第三条 職員は校長、教諭、養護教諭および事務職員で組織する。

第三章 修業年限、学年、学期および休業日

第四条 修業年限は三ケ年とし、その課程は通常の課程とする。

第五条 学年は四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終る。

学年を分けて次の二学期とする。

第一学期 四月一日から九月三十日まで

第二学期 十月一日から翌年三月三十一日まで

第六条 休業日は次のとおりとする。

日曜日

国民の祝日

創立記念日 五月六日

夏期休業 七月十一日から八月三十一日まで

冬期休業 十二月二十五日から一月七日まで

学年末休業 三月二十五日から四月五日まで

臨時休業日は、その都度定める。

### 第四章 教育課程

第七条 本校の教育課程および授業時数は別表のとおりとする。ただしこの表に規定する以外に、実技を課すことがある。(別表は次頁に挿入してある)

## 第五章 課程終了の認定

第八条 各教科科目について所定時数の授業を受け、その教科科目を修得したと認めるときは、その教科科目について定められた数の単位を与える。

第九条 全課程を終了した者には、卒業証書を授与する。

## 第六章 入学、転学、休学および退学

第十条 入学志願者については、別に定める選抜の方法により入学を許可する。

第十一条 入学を許可することのできる者は、中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業した者または文部大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。

第十二条 転入学または編入学を希望する者については、その理由および学力を審査して入学を許可することがある。

第十三条 やむを得ない理由によつて本校を退学し、同一学年に再入学を希望する者あるときは、その理由および学力を審査して入学を許可することがある。

第十四条 入学を志願する者は、所定の入学願書に入学検定料二〇〇円を添えて、出願期日内に願出でなければならぬ。

第十五条 入学を許可された者は、所定の期間内に保証人二名（一名は父母もしくはこれに代る者、一名は本校所在地または近郊に居住する者）連署の誓約書に、戸籍抄本および入学金二〇〇円を添えて提出しなければならない。

第十六条 転入学、編入学または再入学については、前二条の規定を準用する。

第十七条 既納の入学検定料および入学金は、いかなる理由があつても返付しない。

第十八条 入学の時期は毎学年始めから三十日以内とする。

第十九条 他に転学しようとするときは、その理由を添えて保証人から願ひ出て許可を得なければならぬ。

第二十条 病気その他の理由により、休学または退学しようとするときは、その理由を添えて保証人から願ひ出て許可を得なければならぬ。

## 第七章 授業料

第二十一条 授業料は年額金二、四〇〇円とし、次の二期に分納するものとする。

第一期 金一、二〇〇円

納期 四月十五日から四月三十日まで

第二期 金一、二〇〇円

納期 十月十五日から十月三十一日まで

第二十二条 前条の規定にかゝらず特別の理由があるときは許可を得て月割分納することができる。

2、前項の月割額は年額の十二分の一とし、毎月末までにこれを納付しなければならない。

3、月割分納する者が授業料の徴収期から六カ月までの間において退学したときも一期分の授業料を徴収する。

第二十三条 休学するときの授業料は、月割計算により、休学当月の翌月から復学当月の前月までの授業料を免ずる。たゞし納付済の分は返付しない。

第二十四条 授業料の納付期から六カ月までの間に復学したときは、次の算式により算出した授業料額を、その復学の際徴収し、その後における授業料納付期からは、毎期一分授業料額を徴収する。

年鑑×  
復学出庫から次の納付期までの円数

12

2、また退学るときは、その期に属する授業料はこれを徴収する。  
第二十五条 既納の授業料は、いかなる理由があつても返付しない。  
第二十六条 授業料を定日までに納付しないときは、本人および保証人に催告し、なお納付しないときは退学を命ずることがある。

#### 第八章 賞 罰

第二十七条 学術性行優良な生徒を表彰することがある。

第二十八条 生徒が次の各号の一に該当したときは、懲戒する。

- 1、性行不良で改善の見込みがないと認められる者
  - 2、学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - 3、正当の理由がなくて出席常でない者
  - 4、学校の秩序をみだし、その他生徒としての本分に反した者
- 懲戒は、戒告、停学、および退学とする。

(庶務課文書係)

〔横組〕『東京芸術大学学報』第二十五号 昭和二十九年十二月十四日 一〜二頁

② 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則の一部を次のとおり改正する。

昭和三十一年六月十五日

東京芸術大学長

上野直昭

1. 第十四条中「入学検定料金二〇〇円」とあるを「入学検定料金五〇〇円」に改める。

2. 第十五条中「入学金二〇〇円」とあるを「入学金五〇〇円」に改める。

3. 第二十一条中「授業料は年額金二、四〇〇円」とあるを「授業料は年額金三、六〇〇円」に「第一期金一、二〇〇円」とあるを「第一期金一、八〇〇円」に「第二期金一、二〇〇円」とあるを「第一期金一、八〇〇円」にそれぞれ改め、次の但し書きを入れる。

ただし昭和三十一年三月三十一日以前の入学者については従前のおりとする。

付 則

この改正は、昭和三十一年四月一日から適用する。

(横組)

(「大学関係規程集」)

③ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則」全文と制定要旨

音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則の制定

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則を次のと

おり制定する。

昭和三十二年二月八日

東京芸術大学長 上野 直昭

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校

運営委員会規則

第一条 東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校の運営に関する事項を審議するため、音楽学部付属音楽高等学校運営委員会（以下委員会という）を置く。

第二条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもつて組織する。

- 1、音楽学部長
- 2、付属音楽高等学校長
- 3、音楽学部教官のうち作曲、声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器、および学科の担当者各一名
- 4、付属音楽高等学校教官一名
- 5、事務局長
- 2、委員は、学長が任命する。

第三条 前条第一項第三号および第四号の委員の任期は、二年とする。

2、前項の委員に欠員を生じた場合、学長は補欠の委員を任命する。

3、前項の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

第四条 委員会には委員長を置く。

2、委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

第六条 委員長は、委員会における審議の概要を音楽学部教授会に報告するものとする。

第七条 委員会の事務を処理するため幹事を置き、音楽学部事務長をもつて充てる。

付則

1、この規則は昭和三十二年二月八日から施行する。

規則制定の要旨

大学の付属学校を運営する機関について規定された法規はない。しかしながら付属学校を持つ大学においては、各大学共、便宜上これを運営する審議機関を設けている。

本学の付属音楽高等学校についても、運営上の総括的な協議を行うために、その設置の必要があるので、運営委員会規則を制定し、即時出発することになったのである。

構成組織としては、音楽学部長、付属高校々長、事務局長の他に、大学教官の内作曲、声楽、ピアノ、弦楽、管打楽、学科を代表する教官各一名づつ、および付属教官の内一名計十名で編成されている。

（庶務課総務係）

〔横組〕（東京芸術大学学報）第四十二号 昭和三十二年二月十九日 二頁

④ 「東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校学則」の改正部分と改正要旨

付属音楽高等学校学則の一部改正

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校学則（昭和二十九年四月一日施行）の一部を改正する規則を制定する。

昭和三十三年一月二十四日

東京芸術大学長 上野 直 昭

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校

学則の一部を改正する規則

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校学則（昭和二十九年四月

一日施行）の一部を次のように改正する。

1、第三条を次のように改める。

第三条 職員は校長、教頭、教諭、養護教諭および事務職員で組織する。

2、第二十八条を次のように改める。

第二十八条 生徒が次の各号の一に該当したときは校長がこれを懲戒する。

付 則

この規則は昭和三十三年一月十日から適用する。

（改正要旨）

今回の改正は国立学校設置法規則（昭和二十四年文部省令第二十三号）ならびに学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）の改正にともない行ったものである。

すなわち国立学校設置法施行規則第六条に新たに第六条の三として一条をもうけ、付属学校に教頭を置くこと規定し、さらに同規則第十三条の二として一条をもうけて国立高等学校に教頭を置くこと規定されたので、本学付属高校学則第三条を改正したのである。

また同学則第二十八条については、学校教育法施行規則第十三条が改正され、懲戒は校長がこれを行うと規定し、学校教育法第十一

条の規定との関連においてその規定の趣旨を明確にしたものであり、本学付属高等学校学則第二十三条を改正したのである。

（庶務課総務係）

〔横組〕（東京芸術大学学報 第五十一号 昭和三十三年二月二十五日 三頁）

⑤ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運

営委員会規則の一部を改正する規則の制定

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則（昭和三十三年二月八日制定）の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和四十年一月二十二日

東京芸術大学長 小塚 新一 郎

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則の一部を改正する規則

1. 第二条第一項第三号中「学科の担当者」の次に、「の中から」を加える。

2. 同条同項第三号の次に、新たに次の号を加え、以下順次次号を繰下げ、第五号中「附属音楽高等学校教官」の次に、「の中から」を加える。

4. 附属音楽高等学校教頭

3. 附 則

この改正規則は、昭和四十年一月二十二日から施行する。

〔横組〕（東京芸術大学学報 第二二二号 昭和四十年五月二十九日 二頁）

⑥ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則」の改正

東京芸術大学長 福井直俊

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則の一部改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則の一部を次のとおり改正する。

昭和四十五年六月十六日

東京芸術大学長

福井直俊

第二条第一項第三号中「作曲」の次に「ソルフェージュ」を加える。  
 第四条第二項中「委員長は委員の互選とする」を「委員長は、附属音楽高等学校長をもって充てる」に改める。

附則

この改正規則は、昭和四十五年六月十六日から施行する。

(横組) 『東京芸術大学学報』第二二二号 昭和四十五年九月三十日 二頁

⑦ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

学則の一部改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則の一部を次のように改正する。

昭和四十七年四月二十日

第十四条中「入学検定料一、五〇〇円」を「入学検定料二、五〇〇円」に、第十五条中「入学科二、〇〇〇円」を「入学科四、〇〇〇円」に改める。

第二十一条中「年額四、八〇〇円」を「年額九、六〇〇円」に改め、ならびに「ただし、昭和三十八年三月三十一日以前の入学者については、従前のとおりとする」を削る。

附則

1 この改正規則は、昭和四十七年四月二十日から施行し、昭和四十七年四月一日から適用する。

2 昭和四十七年三月三十一日以前に入学した者の授業料の額は、この規則による改正後の本学音楽学部附属音楽高等学校学則(以下「改正学則」という。)第二十一条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 昭和四十七年四月一日以後において転入学、編入学又は再入学をした者の授業料の額は、当該者の属する年次の在学者と同額とする。

4 昭和四十七年度において入学した者から徴収する同年度の授業料の額は、改正学則第二十一条の規定にかかわらず、次の表に定める前期及び後期の額を合わせた額とし、当該前期又は後期の額を前期又は後期において徴収するものとする。

|    |         |
|----|---------|
| 前期 | 二期、四〇〇円 |
| 後期 | 四、八〇〇円  |

5 昭和四十七年度における入学を許可される者の入学料の額は改正学則第十四条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

6 昭和四十七年度の入学、転入学、編入学又は再入学をする者の検定料の額は、改正学則第十四条の規定にかかわらず、なお従前の例による。  
(横組)

(『東京芸術大学学報』第一三八号 昭和四十七年七月三十一日 五～六頁)

⑧ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則の一部改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則の一部を次のように改正する。

昭和四十七年七月二十日

東京芸術大学長 福井直俊

第二条第一項第三号中「音楽学部教官のうち、作曲、ソルフェージュ、声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器および学科の担当者の中から各一名」を「音楽学部の作曲、ソルフェージュ、声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器および学科の各教科主任」に、同項第五号中「一名」を「二名」に改める。

第三条第一項中「任期は二年」を「任期は一年」に改める。

第五条第一項の次に次の一項を加える。

2. 委員長が必要と認めるときは、委員以外の教職員を会議に出席

させ、意見をきくことができる。

附 則

この改正規則は、昭和四十七年七月二十日から施行する。

(横組) (『東京芸術大学学報』第一三九号 昭和四十七年九月三十日 二頁)

⑨ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則の一部改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則の一部を次のとおり改正する。

昭和四十八年二月十五日

東京芸術大学長 福井直俊

第二条第一項第三号中「管打楽器」の次に「指揮」を加える。

附 則

この改正規則は、昭和四十八年四月一日から施行する。

(横組) (『東京芸術大学学報』第一四二号 昭和四十八年三月三十一日 二頁)

⑩ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校長選考規則」全文

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校長

選考規則

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校長選考規則を次のように

制定する。

昭和四十九年十二月十九日

東京芸術大学長

福井直俊

(趣旨)

第一条 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校長（以下「校長」という。）の選考は教育公務員特例法（昭和二十四年法律第一号）

第十三条の規定に基づきこの規則の定めるところによる。

(選考の時期)

第二条 校長の選考は次の各号の一に該当する場合に行う。

- (1) 校長の任期が満了するとき。
- (2) 校長が辞任を申し出たとき。
- (3) 校長が欠員になったとき。

2 校長の選考は前項第一号に該当する場合においては任期満了の一月以前に同項第二号及び第三号に該当する場合においてはすみやかに行う。

(任期)

第三条 校長の任期は三年とする。

(校長候補者選考委員会)

第四条 校長候補者を選考するため校長候補者選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は次の各号にかかげる者をもって組織する。

- (1) 音楽学部長
- (2) 校長

(3) 音楽学部作曲、声楽、ピアノ、弦楽、管打楽、指揮及びソ

ルフエージュの各教科主任

(4) 音楽学部附属音楽高等学校教頭

(5) 音楽学部附属音楽高等学校専任教諭のうちから選出された

者二名

3 委員会に委員長を置き音楽学部長をもってあてる。

(校長候補者の選出方法)

第五条 委員会は音楽学部教授会の意向を徴し音楽学部専任教諭のうちから校長候補者三名を選出する。

(校長の選考)

第六条 学長は前条により選出された校長候補者三名のうちから評議会を経て校長を選考する。

附則

この規則は昭和四十九年十二月十九日から施行する。

(横組)

〔東京芸術大学学報〕第一四八号 昭和四十九年十二月三十一日 二二三頁

⑩「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校学則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和五十年四月一日

東京芸術大学長

福井直俊

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

学則の一部を改正する規則

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校学則の一部を次のように改正する。

第十四条中「入学検定料二、五〇〇円」を「検定料」に改める。

第十五条中「戸籍抄本及び入学料四、〇〇〇円」を「戸籍抄本及び所定の入学料」に改める。

第七章 授業料」を「第七章 検定料・入学料及び授業料」に改め、第二十二條から第二十八條まで一條ずつ繰り下げ第二十一條中「授業料は年額九、六〇〇円とし」を「授業料は」に改め、同條を第二十二條とし、第七章の次に次の一條を加える。

第二十一條 検定料・入学料及び授業料の額は、国立の学校における授業料その他の費用に関する省令（昭和三十六年文部省令第九号）に定めるところによる。

附 則

この改正規則は、昭和五十年四月一日から施行する。

（横組）

〔東京藝術大学学報〕第一五〇号 昭和五十一年四月三十日 三（四頁）

⑫ 「東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校学則」の改正

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校学則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和五十年九月十八日

東京芸術大学長

福井直俊

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校

学則の一部を改正する規則

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校学則の一部を次のように改正する。

題名中「学則」を「校則」に改める。

第二十二條の次に次の一條を加える。

第二十二條の二 特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められるときは、入学する者の願い出により入学料の全学又は半額を免除することがある。

2. 入学料の免除に関する規則は、別に定める。

附 則

この改正規則は、昭和五十年九月十八日から施行し、昭和五十年四月一日から適用する。

（横組）

〔東京藝術大学学報〕第一五〇号 昭和五十一年四月三十日 五頁

⑬ 「東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校運営委員会規則」の改正

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校運営委員会規則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和五十一年一月七日

東京芸術大学長

福井直俊

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校

運営委員会規則の一部を改正する規則

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則の一部を次のように改正する。

第二条第三号中「指揮及び学科の各教科主任」を「指揮、室内楽、音楽教育及び学科の各教科主任」に改める。

附 則

この改正規則は、昭和五十一年一月七日から施行する。 (横組)

(東京藝術大学学報 第一五〇号 昭和五十一年四月三十日 一六頁)

⑭ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和五十一年二月二十日

東京芸術大学長

福井直俊

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

校則の一部を改正する規則

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校則の一部を次のように改正する。

「第二章 編成」を「第二章 編成及び運営」に改める。

第三条の次に次の一条を加える。

第三条の二 本校の教育活動を円滑かつ効果的に展開し、調和のとれた学校運営を図るため、教務主任、保健主事、生徒指導主事及

び進路指導主事(以下「主任等」という。)を置く。

2 主任等の職務は、学校教育法施行規則の定めるところによる。

3 主任等は、校長が命ずる。

4 主任等の任期は、一年とし、再任を妨げない。ただし、主任等に欠員が生じた場合の補欠の主任等の任期は、前任者の残任期間とする。

附 則

この改正規則は、昭和五十一年三月一日から施行する。

改正理由

学校教育法施行規則の一部を改正する省令(昭和五十年十二月二十六日付け文部省令第四十一号)に基づき東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校校則の第二章の改正並びに第三条の次に第三条の二を加え、教育活動を円滑かつ効果的に展開し、調和のとれた学校運営が行われるような教職員の組織を置くこととした。 (横組)

(東京藝術大学学報 第一五〇号 昭和五十一年四月三十日 一六頁)

⑮ 「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校長選考規則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校長選考規則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和五十五年十一月二十七日

東京芸術大学長 山本正男

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校長

選考規則の一部を改正する規則

第四条第二項第三号を次のように改める。

- (3) 音楽学部の作曲、声楽、オペラ、ピアノ、オルガン、弦楽、管打楽、指揮、室内楽、ソルフェージュ、楽理、音楽教育、邦楽及び一般教育等の各教科主任

附則

この規則は、昭和五十五年十一月二十七日から施行する。(横組)

〔東京芸術大学学報〕第一八二号 昭和五十五年十二月十五日 一頁

⑯「東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則」の改正

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校運営委員会規則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和五十五年十一月二十七日

東京芸術大学長 山本 正 男

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

運営委員会規則の一部を改正する規則

第二条第一項第三号中「音楽学部教官のうち」を「音楽学部の」に「及び学科の」を「及び一般教育等の」に改める。

附則

この規則は、昭和五十五年十一月二十七日から施行する。(横組)

〔東京芸術大学学報〕第一八二号 昭和五十五年十二月十五日 一頁

昭和二十九年(第一期生)の生徒募集要項を掲載する。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

昭和二十九年 生徒募集要項

本校第一学年生徒を左記の要領で募集する。

一、募集人員

作曲科

器楽科(ピアノ、弦楽器、管楽器、打楽器)

合計 約四十名

二、入学資格

中学校卒業者並に之と同等以上の学力があると認められた者。

三、入学者の選抜方法

左記の試験と出身中学校の生徒指導要録の写及び身体検査により審査する。

イ、試験科目

専攻科目と実技

(一) 作曲科

(a) 和声学 転調を含まない程度。

(b) 自由作曲 歌詞を与え、伴奏付きの簡単な曲を作らせる。

(c) ピアノ モーツァルト又はベートーヴェンの

ソナタ

(d) 聴音

(二) 器楽科

(1) ピアノを専攻する者

(a) 自由曲 ベートーヴェンソナタ作品第31番

での曲。第一楽章又は終楽章の程度。

(b) 練習曲 ツェルニー50番程度の練習曲を一曲。  
但しツェルニーに限らない。

(c) 聴 音

(2) 弦楽器 (ヴァイオリン・ヴィオラ・セロ・コントラ  
バス・ハープの中二)を専攻する者。

(a) 自由曲 楽曲及び練習曲を一曲づつ。  
曲目は特に指定しない。

(b) 聴 音

(3) 管楽器 打楽器等を専攻する者。

(フルーイト・クラリネット・オーボエ・フ  
アゴット・サクソフォン・トランペット・  
ホルン・トロンボーン・チューバ・打楽器  
の中一、その他の楽器については照会のこ  
と。)

(a) 自由曲 一曲

(b) 聴 音

(注意)  
a、楽曲の演奏は途中で止めさせたり、又は部分的に演奏  
させることがある。

b、聴音については、本年度は試みに和声、旋律等多岐に  
亘り行う。

c、面接について、——本校は特殊な学校であるから本人

及び父兄との面接を行い、今後の教育方針内容等につ  
いて諒解し合うようにする。但しこれは入学試験の成  
績には関係させない。

ロ、入学並びに転学試験日割  
試験日割表(次頁に掲載)

ハ、試験場

東京芸術大学音楽学部

附属音楽高等学校

(東京芸術大学音楽学部分教場  
東京都千代田区神田駿河台二ノ九)

#### 四、出願手続

志願者は左記のものを四月十九日(月)から四月二十五日(日)  
まで(取扱時間は午前九時から午後三時まで)の間に本校に提  
出のこと。

1、入学願書(本校所定のもの)

写 真(脱帽、上半身、正面、最近撮影のものを入学

願書に貼付のこと)

2、出身中学校の生徒指導要録の写し。

3、入学検定料金貳百円(なお一旦納付した検定料は如何なる

事由によるも之を返付しない)

(注意)

a、出願手続をとつた者には受験票を交付する。

b、願書を郵送した者は受験票を四月二十六日(月)午後  
三時まで本校に出頭して受取ること。

〔試験日割表〕

| 科別<br>月日  | 作曲科   | 器 楽 科                |                             |                  |                  | 備 考   |
|---|---|----------------------|-----------------------------|------------------|------------------|---|
|   |   | ピ ア ノ                | 弦 楽 器                       | 管 楽 器            | 打 楽 器            |   |
| 4月27日<br>(火)  | 聴音<br>9・00～10・00  | 聴音<br>9・00～10・00     | 聴音<br>9・00～10・00            | 聴音<br>9・00～10・00 | 聴音<br>9・00～10・00 | 応募者の数によって左記時間割を変更することがあるから詳細は四月二十六日(月)午後校内に発表する |
|   | 和声学<br>10・30～12・00<br>自由作曲<br>13・00～14・00<br>ピアノ<br>14・00以後 | 自由曲<br>10・30～<br>練習曲 | 自由曲<br>自由曲<br>11・30～<br>練習曲 | 自由曲<br>10・30～    | 自由曲<br>10・30～    |   |
| 午後5時以後第一次の発表を行う<br>27日(火)の試験に合格した者は28日の面接及び身体検査を受けること |   |                      |                             |                  |                  |   |
| 4月28日<br>(水)  | 面 接<br>身体検査   | 8・30～<br>9・00～       | 本人及び保証人(なるべく父兄同道のこと)        |                  |                  |   |

五、発表と入学手続

イ、合格者発表  
 第一次四月二十七日(火)午後五時以後  
 第二次四月二十八日(水)同 右

ロ、合格者は四月三十日(金)午前十時までに所定の入学手続を完了すること。

その手続きについては入学発表の際掲示する。

(注意)  
 期日までに所定の手続きを終らない者は入学を取消すことがある。

ハ、入学式は四月三十日(金)午前十一時。  
 式終了後引き続き学習指導等について打合せを行う。

## 備 考

イ、早期教育の立前から新卒業生を採用する方針であるが、本年度は特に昭和二十八年三月に中学校を卒業した者も第一学年の入学試験の受験を認める。

ロ、本校備付の楽器では練習が出来ないから、志望者は、その専攻する楽器(作曲科はピアノ)を所持するか各自、自由に練習出来る便宜を有することを条件とする。

ハ、☆参考までに学科課程表をあげておく。

| 教 科 | 単位数 | 備 考 |
|-----|-----|-----|
| 国 語 | 9   |     |

学 科 課 程 表

| 総<br>計     | 選 択 教 科  |                              |                                 |        |        |                             | 必 修 教 科  |                             |                  |                                  |                        |          |  |                  |                        |                             |  |                  |
|------------|----------|------------------------------|---------------------------------|--------|--------|-----------------------------|----------|-----------------------------|------------------|----------------------------------|------------------------|----------|--|------------------|------------------------|-----------------------------|--|------------------|
|            | (小<br>計) | (英<br>第<br>二<br>外<br>国<br>語) | B                               |        |        | A                           |          | 音 楽 教 科                     |                  |                                  |                        |          | 普 通 教 科  |                  |                        |                             |  |                  |
|            |          |                              | 打<br>弦<br>樂<br>器<br>の<br>中<br>一 | 美<br>術 | 生<br>物 | 数<br>学<br>(<br>解<br>析<br>二) | (小<br>計) | ピ<br>ア<br>ノ<br>(<br>副<br>科) | 一<br>般<br>音<br>楽 | ソ<br>ル<br>フ<br>エ<br>ー<br>ジ       | (<br>専<br>修<br>課<br>目) | (小<br>計) | 外<br>国<br>語                                      | 保<br>健<br>体<br>育 | 理<br>科<br>(<br>物<br>理) | 数<br>学<br>(<br>解<br>析<br>一) | 社<br>会<br>(<br>日<br>本<br>史<br>世<br>界<br>史) | 一<br>般<br>社<br>会 |
| 94<br>(98) | 5<br>(9) | 4                            | 3                               | 2      | 2      | 3                           | 33       | 6                           | 9                | 12                               | 6                      | 56       | 18   | 9                | 5                      | 5                           | 5  | 5                |
|            |          | 二、三年に履修                      |                                 |        |        |                             |          | 奏とす<br>る                    | 含<br>む           | 合<br>唱、<br>聽<br>音<br>を<br>含<br>む |                        |          | 英、<br>独、<br>仏<br>語<br>の<br>中<br>一<br>を<br>選<br>ぶ |                  |                        |                             |  |                  |

(註) 選択教科は科目組合せのA類、B類何れかを選ぶ。  
その他希望により第二外国語を履修することが出来る。

東京芸術大学音楽学部

附 属 音 楽 高 等 学 校

東京都千代田区神田駿河台二ノ九  
電話 神田(29)〇七一四番  
国電 お茶の水駅又は水道橋下車  
徒歩約五分 日仏会館前  
都電 水道橋停留所下車 徒歩約五分

(ファイル「生徒募集要項」教務課)

『学報』で報じられた、第一回入学式と開校式。

音楽学部附属音楽高等学校入学式および

開校式について

○入学式

音楽学部附属音楽高等学校の入学式は四月三十日次のとおり行  
はれた。

日 時 昭和二十九年四月三十日(十三時始)

出席者 学長、学部長、校長および附属高等学校関係教育、生

徒および父兄、事務局長、庶務課長、音楽学部事務長

式 次 第

1、開会の辞

2、入学許可

3、式 辞

学 校 長

学 校 長

4、祝 辞 学 長

学 部 長

5、宣 誓 生徒総代(外山準)

6、閉会の辞

なお本年度の合格者は二十八名であつたが、内訳は次のとおりである。

作曲 三名 ピアノ 十名

弦 楽 十名 管 楽 四名

打楽器 一名 計 二十八名

○開校式

音楽学部附属音楽高等学校開校式は五月十八日次のとおり行はれた。

日 時 昭和二十九年五月十八日(午後二時)

出席者 文部大臣代理

文部省大学々術局長 稲田 清助

ほか学内外約一三〇名出席した。

式 次 第

1、開 式

2、国 歌(レコード)

3、校長挨拶 城多又兵衛

4、学部長挨拶 加藤 成之

5、学長挨拶 上野 直昭

6、来賓祝辞

○文部大臣代理

文部省大学々術局長 稲田 清助

○全国大学音楽学部協議会長

武蔵野音楽大学学長 福井 直秋

○同声会長

山田 耕侅

7、響和会長挨拶

若林 義孝

佐藤 瑞穂

伊藤 浩史

8、生徒代表

9、閉 会

なお閉会後模擬店等でくつろいだ。

(横組)『東京芸術大学学報』第十九号 昭和二十九年六月三十日 七頁

(附属高校)

昭和四十年年度の学年暦(学内で確認される最初の学年暦 および六十二年の学年暦)

昭和四十年年度学年暦

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

| 4             | 月             | 日 | 週 | 前 期 行 事  |
|---------------|---------------|---|---|--|
| 19<br>〜<br>24 | 12<br>〜<br>17 | 2 | 1 | 22 (木) 遠 足   |
|               |               |   |   | 141312 (月) 入学式(10・00)<br>(火) 始業式ガイダンス(10・00)<br>(水) 前期授業開始 |

|              |                                  |               |              |   |   |                     |                                       |                         |               |               |              |              |               |               |                         |                          |                                |                    |
|--------------|----------------------------------|---------------|--------------|---|---|---------------------|---------------------------------------|-------------------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------|
| 9            |                                  |               |              |   | 8 | 7                   | 6                                     |                         |               |               |              | 5            |               |               |                         |                          |                                |                    |
| 27<br>∩<br>2 | 20<br>∩<br>25                    | 13<br>∩<br>18 | 6<br>∩<br>11 | 30<br>∩<br>4  |   |                     | 5<br>∩<br>10                          | 28<br>∩<br>3            | 21<br>∩<br>26 | 14<br>∩<br>19 | 7<br>∩<br>12 | 31<br>∩<br>5 | 24<br>∩<br>29 | 17<br>∩<br>22 | 10<br>∩<br>15           | 3<br>∩<br>8              | 26<br>∩                        |                    |
| 18           | 17                               | 16            | 15           | 14  |   |                     | 13                                    | 12                      | 11            | 10            | 9            | 8            | 7             | 6             | 5                       | 4                        | 3                              |                    |
| 前期試験         | 2523<br>(土)(木)<br>前期授業終了<br>秋分の日 |               |              | 2 1 31<br>(木)(水)(火)<br>夏期休暇終了<br>授業開始<br>四十一年度入試課題曲決定 |   | 12<br>(月)<br>夏期休暇開始 | 10 7<br>(土)(水)<br>授業終了<br>∩10(土) 三年旅行 | 3029<br>(水)(火)<br>校内演奏会 |               |               |              |              |               |               | 22<br>(土)<br>身体検査(内科計測) | 14<br>(金)<br>身体検査(レントゲン) | 5 3<br>(水)(月)<br>子供の日<br>憲法記念日 | 29<br>(木)<br>天皇誕生日 |

|               |              |              |               |               |                                       |                    |                                  |               |              |              |                     |               |              |                              |                    |               |                          |                    |                  |
|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------------------------------|--------------------|----------------------------------|---------------|--------------|--------------|---------------------|---------------|--------------|------------------------------|--------------------|---------------|--------------------------|--------------------|------------------|
| 2             |              |              | 1             |               |                                       | 12                 |                                  |               | 11           |              |                     |               | 10           |                              |                    | 月             |                          |                    |                  |
| 14<br>∩<br>19 | 7<br>∩<br>12 | 31<br>∩<br>5 | 24<br>∩<br>29 | 17<br>∩<br>22 | 10<br>∩<br>15                         |                    | 20<br>∩<br>25                    | 13<br>∩<br>18 | 6<br>∩<br>11 | 29<br>∩<br>4 | 22<br>∩<br>27       | 15<br>∩<br>20 | 8<br>∩<br>13 | 1<br>∩<br>6                  | 25<br>∩<br>30      | 18<br>∩<br>23 | 11<br>∩<br>16            | 4<br>∩<br>9        | 日                |
| 35            | 34           | 33           | 32            | 31            |                                       |                    | 30                               | 29            | 28           | 27           | 26                  | 25            | 24           | 23                           | 22                 | 21            | 20                       | 19                 | 週                |
|               |              |              |               |               | 15<br>(土)<br>成人の日<br>入学試験<br>(授業臨時休業) | 8<br>(土)<br>冬期休暇終了 | 2524<br>(土)(金)<br>冬期休暇開始<br>授業終了 |               |              |              | 23<br>(火)<br>勤労感謝の日 |               |              | 3 2<br>(水)(火)<br>文化の日<br>体育会 | 26<br>(火)<br>校内演奏会 |               | 1514<br>(金)(木)<br>一・二年遠足 | 5<br>(火)<br>後期授業開始 | 後<br>期<br>行<br>事 |

| 6月                       |                              | 5月            |                            |                     |                   | 4月                          |               |                      |   | 3月   |
|--------------------------|------------------------------|---------------|----------------------------|---------------------|-------------------|-----------------------------|---------------|----------------------|---|--|
| 8<br>~<br>13             | 1<br>5<br>~<br>6             | 25<br>~<br>30 | 18<br>~<br>23              | 11<br>~<br>16       | 4<br>~<br>9       | 27<br>~<br>2                | 20<br>~<br>25 | 13<br>~<br>18        | 6<br>~<br>11  | 1<br>~<br>5  |
| 10                       | 9                            | 8             | 7                          | 6                   | 5                 | 4                           | 3             | 2                    | 1   | 前週   |
| 13<br>(土)<br>アカンサス・コンサート | 10<br>(水)副科ピアノ・中間試験(全学年)     |               | 24<br>(日)春季校外合宿(菅平)(全学年必修) | 16<br>(土)アカンサスコンサート | 6<br>(水)創立記念日(休業) | 4<br>(月)・3<br>(日)憲法記念日の振替休日 |               | 18<br>(土)アカンサス・コンサート | 10<br>(金)対面式・実力考查(第一日) 健康診断・体力測定・身体計測<br>11<br>(土)実力考查(第二日) | 8<br>(水)前期始業式(8・30) オリエンテーション(13・00)<br>9<br>(木)入学式(11・00) |
|                          | 3<br>(水)学科中間試験(全学年)          |               |                            |                     |                   |                             |               |                      |   | 1<br>(日)   |
|                          | 4<br>(木)附属音楽高等学校運営委員会(16・00) |               |                            |                     |                   |                             |               |                      |   | 前月   |

昭和六十二年  
東京藝術大学音楽学部  
附属音楽高等学校 学事曆

3月23日(水) 卒業式

(横組)

|              |               |    |                  |
|--------------|---------------|----|------------------|
| 28<br>~<br>5 | 21<br>~<br>26 | 37 | 26<br>(土) 後期授業終了 |
| 後期試験         |               |    |                  |

| 9月                               |                 |                       |                    | 8月   |                                     | 7月                               |                       |                                   | 6月                       |                                  |                               |                              |
|----------------------------------|-----------------|-----------------------|--------------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|-----------------------|-----------------------------------|--------------------------|----------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 28<br>~<br>30                    | 21<br>~<br>26   | 14<br>~<br>19         | 7<br>~<br>12       | 1<br>~<br>5                                    | 8<br>~<br>23                        | 20<br>~<br>25                    | 13<br>~<br>18         | 6<br>~<br>11                      | 29<br>~<br>4             | 22<br>~<br>27                    | 15<br>~<br>20                 |                              |
|                                  | 20              | 19                    | 18                 | 17   |                                     | 16                               | 15                    | 14                                | 13                       | 12                               | 11                            |                              |
| 10<br>~<br>27<br>(金) 二年修学旅行(北海道) | 26<br>(土) 前期終業式 | 24<br>(木) 前期学科試験(全学年) | 23<br>(水) 秋分の日(休日) | 22<br>(火) 前期実技試験(9・00~9・30) 副科ピアノ(10・30~12・00) | 19<br>(土) 前期実技試験(音楽理論9・00~音楽史10・00) | 12<br>(金) 昭和六十三年入学試験課題曲発表(13・00) | 11<br>(土) アカンサス・コンサート | 1<br>(火) 授業開始・実力考查                | 夏季休業(7/23(木)~8/31(月))    | 22<br>(水) 夏季校外合宿(臨海学校)(岩井)(二年必修) | 16<br>(土) 水泳教室                | 13<br>(月) 水泳教室               |
|                                  |                 |                       |                    |  |                                     |                                  |                       | 11<br>(土) 歌舞伎教室(国立劇場)<br>二・三年共通模試 | 6<br>~<br>29<br>(土) 教育実習 | 27<br>(土) 三年公開実技試験(弦打・作13・00)    | 24<br>(水) 三年公開実技試験(管打・作10・30) | 22<br>(月) 三年公開実技試験(ピアノ10・30) |
|                                  |                 |                       |                    |  |                                     |                                  |                       |                                   |                          | 19<br>(金) 一・二年前期実技試験(ピアノ10・00)   | 18<br>(木) 一・二年前期実技試験(作曲9・00)  | 17<br>(水) 臨海学校参加者健康診断(午後)    |

(横組)

| 1 月                          |                                    | 12 月                                   |  |  | 11 月                              |                 |                  |              | 10 月         |  |               |  |   | 月                              |              |                          |
|------------------------------|------------------------------------|--|--|--|-----------------------------------|-----------------|------------------|--------------|--------------|--|---------------|--|---|--------------------------------|--------------|--------------------------|
| 11<br>～<br>16                | 8<br>～<br>9                        | 21<br>～<br>1/7                         | 14<br>～<br>19                          | 7<br>～<br>12   | 30<br>～<br>5                      | 23<br>～<br>28   | 16<br>～<br>21    | 9<br>～<br>14 | 2<br>～<br>7  | 26<br>～<br>31                              | 19<br>～<br>24 | 12<br>～<br>17                                | 5<br>～<br>10                                      | 1<br>～<br>3                    | 日            |                          |
| 34                           | 33                                 |  | 32                                     | 31   | 30                                | 29              | 28               | 27           | 26           | 25   | 24            | 23   | 22  | 21                             | 週            |                          |
| 16(土)入試揭示(16(土)～22(金)生徒登校禁止) | 15(金)成人の日(休日)<br>14(木)第三時限から入試準備作業 | 8(金)授業開始・実力考查(一・二年)<br>9(土)アカンサス・コンサート | 21(月)大掃除・授業終了<br>冬季休業(12/22(火)～1/7(木)) | 15(火)昭和六十三年入学願書受付(9:00～16:00)<br>14(月)副科ピアノ中間試験(全学年) | 12(土)～9(水)一年<br>二年学科中間試験・三年後期学科試験 | 23(月)勤労感謝の日(休日) | 21(土)アカンサス・コンサート |              | 3(火)文化の日(休日) | 25(日)三年共通模試(校外)<br>教育実習(10/19(月)～10/31(土)) |               | 17(土)後期父母会・アカンサス・コンサート<br>15(木)前期成績会議(16:00) | 10(土)体育の日(休日)<br>4(日)東京芸術大学創立二〇〇周年記念式典(第六ホール・体育館) | 2(金)後期始業式(8:30～)<br>第二時限より平常授業 | 1(木)都民の日(休日) | 後 期 (10月1日～3月31日)<br>学 事 |

| 3 月           |  |   |  | 2 月                                   |   |   |                 | 1 月   |                               |                           |                                  |                    |                         |                   |
|---------------|--|---|--|---------------------------------------|---|---|-----------------|---|-------------------------------|---------------------------|----------------------------------|--------------------|-------------------------|-------------------|
| 28<br>～<br>31 | 21<br>～<br>26  | 14<br>～<br>19                                   | 7<br>～<br>12                                   | 29<br>～<br>5                          | 22<br>～<br>27   | 15<br>～<br>20                                 | 8<br>～<br>13    | 1<br>～<br>6                                     | 25<br>～<br>30                 | 17<br>～<br>23             |                                  |                    |                         |                   |
|               |  | 43  | 42   | 41                                    | 40  | 39  | 38              | 37  | 36                            | 35                        |                                  |                    |                         |                   |
|               | 22(月)20(日)春分の日(振替休日)<br>21(火)昭和六十三年入学手続(10:00～12:00) | 19(土)生徒個別指導<br>18(金)及落決定会議(9:30) 昼食会(新卒業生12:00) | 14(月)後期終業式・大掃除<br>12(土)冬季校外合宿(スキー学校)(菅平)(一年必修) | 5(土)～2(水)一・二年後期学科試験<br>1(火)卒業式(11:00) | 29(日)卒業式準備(第四時限)<br>25(木)一・二年後期実技試験(弦・管打10:00～)<br>24(水)一・二年後期実技試験(管打10:00～)<br>23(火)一・二年後期実技試験(作9:00～ソピアノ10:30～) | 22(月)一・二年後期実技試験(音楽理論8:30～音楽史9:30～副科ピアノ10:30～) | 11(木)建国記念の日(休日) | 4(木)卒業認定会議<br>2(火)三年後期実技試験(管打・合唱10:00～声楽11:00～) | 1(月)三年後期実技試験(作9:00～P・弦10:00～) | 30(土)三年後期実技試験(副科ピアノ9:30～) | 29(金)三年後期実技試験(音楽理論8:30～音楽史9:30～) | 24(土)共通第一次学力試験(予定) | 23(土)合格者に対する説明会(10:00～) | 22(日)昭和六十三年入学試験期間 |

次に教育課程表を取り上げる。学内では『昭和四十年東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』に見られるものが最初である。以下昭和四十年以降、変更のあった年度の教育課程表を掲載する。

## 別表

## 教育課程表

(1) 昭和37年度以前の入学者に適用されるもの

| 教科   | 科目      | 単位数       | 学年別      |          |          | 備考                             |
|------|---------|-----------|----------|----------|----------|--------------------------------|
|      |         |           | I        | II       | III      |                                |
| 国語   | 国語甲     | 9         | 3        | 3        | 3        |                                |
| 社会   | 社会      | 3         | 3        |          |          |                                |
|      | 日本史     | 3         |          | 3        |          |                                |
|      | 世界史     | 3         |          |          | 3        |                                |
| 数学   | 数学I     | 6         | 3        | 3        |          |                                |
| 理科   | 物理      | 3         |          | 3        |          |                                |
|      | 生物      | 3         | 3        |          |          |                                |
| 保健体育 | 保健体育    | 9         | 3        | 3        | 3        |                                |
| 芸術   | 美術      | 2         | 1        | 1        |          |                                |
| 外国語  | 第一外国語   | 15        | 5        | 5        | 5        | 英・独・仏のうち一を選ぶ                   |
|      | 第二外国語   | 4         |          | 2        | 2        | 英・独・仏のうち一を選ぶ<br>(第一外国語以外のもの)   |
| 音楽   | 専修科目    | 6         | 2        | 2        | 2        |                                |
|      | 一般音楽    | 9         | 3        | 3        | 3        | 理論(通論・和声・対位法)・音楽史・合唱を含む        |
|      | ソルフェージュ | 12        | 4        | 4        | 4        |                                |
|      | 副科ピアノ   | 3         | 1        | 1        | 1        | ピアノ専修者を除く                      |
|      | アンサンブル  | 6         | 2        | 2        | 2        | 作曲科とピアノおよびハープ専修者を除く            |
|      | オーケストラ  | 6         | 2        | 2        | 2        |                                |
|      | 副科実技    | 3         | 1        | 1        | 1        | 声・弦・管・打のうち一つを選ぶ<br>(専修科目以外のもの) |
|      | 合計      | 90<br>105 | 31<br>36 | 33<br>39 | 26<br>31 |                                |

## (2) 昭和38年度以降の入学者に適用されるもの(昭和40年4月改訂)

| 教科                    | 科目      | 単位数      |          |          |           | 備考                                   |                                   |
|-----------------------|---------|----------|----------|----------|-----------|--------------------------------------|-----------------------------------|
|                       |         | 1年       | 2年       | 3年       | 計         |                                      |                                   |
| 国語                    | 現代国語    | 3        | 2        | 2        | 7         |                                      |                                   |
|                       | 古典甲     |          | 1        | 1        | 2         |                                      |                                   |
| 社会                    | 倫理・社会   | 2        |          |          | 2         |                                      |                                   |
|                       | 政治・経済   | 2        |          |          | 2         |                                      |                                   |
|                       | 日本史     |          |          | 3        | 3         | 選択履修                                 |                                   |
|                       | 世界史A    |          | 3        |          | 3         |                                      |                                   |
|                       | 地理A     |          |          | 3        | 3         |                                      |                                   |
| 数学                    | 数学I     | 3        | 2        |          | 5         |                                      |                                   |
|                       | 数学II A  |          |          | 2        | 2         |                                      |                                   |
| 理科                    | 物理A     |          | 3        |          | 3         |                                      |                                   |
|                       | 生物      | 3        |          |          | 3         |                                      |                                   |
| 保健体育                  | 体育      | 3        | 2        | 2        | 7         |                                      |                                   |
|                       | 保健      |          | 1        | 1        | 2         |                                      |                                   |
| 芸術                    | 美術      | 1        | 1        |          | 2         |                                      |                                   |
| 外国語                   | 第一外国語   | 5        | 5        | 5        | 15        | 英・独・仏のうち一つをえらぶ。                      |                                   |
|                       | 第二外国語   |          | 2        | 2        | 4         | 英・独・仏のうち一つをえらぶ。<br>ただし第一外国語以外のものとする。 |                                   |
| 普通科目計                 |         | 22       | 22       | 18~21    | 62~65     |                                      |                                   |
| 音楽                    | 音楽理論    | 2        | 2        | 2        | 6         |                                      |                                   |
|                       | 音楽史     | 1        | 1        | 1        | 3         |                                      |                                   |
|                       | ソルフェージュ | 4        | 4        | 4        | 12        |                                      |                                   |
|                       | 合唱      | 1        | 1        | 1        | 3         |                                      |                                   |
|                       | 合奏      | 4<br>(2) | 4<br>(2) | 4<br>(2) | 12<br>(6) | 作曲科を除く。( )内はピアノ専修者が修得すべき単位数とする。      |                                   |
|                       | 専修科目    | 2        | 2        | 2        | 6         |                                      |                                   |
|                       | 副科      | ピアノ      | 1        | 1        | 1         | 3                                    | ピアノ専修者を除く。                        |
|                       |         | その他      | 1        | 1        | 1         | 3                                    | 声楽または弦・管・打楽器のうち一つをえらぶ。ただし器楽科は選択履修 |
| 音楽科目計                 |         | 12~16    | 12~16    | 12~16    | 36~48     |                                      |                                   |
| 特別教育活動(ホーム・ルームの過当り時間) |         | 1        | 1        | 1        | 3         |                                      |                                   |
| 合計                    |         | 35~39    | 35~39    | 31~38    | 101~116   |                                      |                                   |

(『昭和40年度 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』12~13頁)

別表 2 (昭和48年度以降の入学者に適用されるもの)

(昭和48年 4 月改訂)

| 教科        | 科目      | 単位数      |          |          |          | 備考                        |
|-----------|---------|----------|----------|----------|----------|---------------------------|
|           |         | 1年       | 2年       | 3年       | 計        |                           |
| 国語        | 現代国語    | 2        | 3        | 3        | 8        |                           |
|           | 古典 I 乙  | 2        | 2        | 2        | 6        |                           |
| 社会        | 倫理・社会   | 2        |          |          | 2        |                           |
|           | 政治・経済   | 2        |          |          | 2        |                           |
|           | 日本史     |          | 2        | 2        | 4        |                           |
|           | 世界史     |          | 2        | 2        | 4        |                           |
| 数学        | 数学 I    | 3        | 3        |          | 6        |                           |
|           | 数学 II   |          |          |          |          |                           |
| 理科        | 物理 I    |          |          | 3        | 3        |                           |
|           | 生物      | 3        |          |          | 3        |                           |
| 保健体育      | 体育      | 3        | 3        | 3        | 9        |                           |
|           | 保健      | 1        | 1        |          | 2        |                           |
| 芸術        | 美術      |          |          |          |          |                           |
| 外国語       | 英語 B    | 5        | 6        | 6        | 17       |                           |
| 普通科目計     |         | 23       | 22       | 21       | 66       |                           |
| 音楽        | 音楽理論    | 1        | 1        | 1        | 3        |                           |
|           | 音楽史     | 1        | 1        | 1        | 3        |                           |
|           | ソルフェージュ | 4        | 5        | 5        | 14       |                           |
|           | 合唱      | 1        | 1        | 1        | 3        |                           |
|           | 合奏      | 3<br>(2) | 3<br>(2) | 3<br>(2) | 9<br>(6) | 作曲専攻者を除く。<br>( ) はピアノ専攻者  |
|           | 専攻科目    | 1        | 1        | 1        | 3        |                           |
|           | 副科      | ピアノ      | 1        | 1        | 1        | 3                         |
| その他       |         | 1        | 1        | 1        | 3        | 作曲, 声楽, 弦, 管, 打楽器の中から選択履修 |
| 音楽科目計     |         | 9~13     | 10~14    | 10~14    | 29~41    |                           |
| 教科以外の教育活動 | ホーム・ルーム | 1        | 1        | 1        | 3        |                           |
|           | クラブ活動   | 1        | 1        | 1        | 3        |                           |
| 合計        |         | 34~38    | 34~38    | 33~37    | 101~113  |                           |

(『昭和48年度 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』13頁)

## 別 表

## 教 育 課 程 表

(昭和51年4月改訂)

| 教 科               | 科 目           | 単 位 数 |       |       |         | 備 考                         |
|-------------------|---------------|-------|-------|-------|---------|-----------------------------|
|                   |               | 1年    | 2年    | 3年    | 計       |                             |
| 国 語               | 現 代 国 語       | 2     | 2     | 3     | 7       |                             |
|                   | 古 典 I 乙       | 2     | 2     | 2     | 6       |                             |
| 社 会               | 倫 理 ・ 社 会     |       |       | 2     | 2       |                             |
|                   | 政 治 ・ 経 済     |       |       | 2     | 2       |                             |
|                   | 日 本 史         | 2     | 2     |       | 4       |                             |
|                   | 世 界 史         | 2     | 2     |       | 4       |                             |
| 数 学               | 数 学 I         | 2     | 2     | 2     | 6       |                             |
|                   | 物 理 I         |       | 1     | 2     | 3       |                             |
| 理 科               | 生 物           | 2     | 1     |       | 3       |                             |
|                   | 体 育           | 3     | 3     | 3     | 9       |                             |
| 保 健 体 育           | 保 健           | 1     | 1     |       | 2       |                             |
|                   | 英 語 B         | 6     | 5     | 6     | 17      |                             |
| 普 通 科 目 計         |               | 22    | 21    | 22    | 65      |                             |
| 音 楽               | 音 楽 理 論       | 1     | 1     | 1     | 3       |                             |
|                   | 音 楽 史         | 1     | 1     | 1     | 3       |                             |
|                   | ソルフェージュ       | 4     | 5     | 5     | 14      |                             |
|                   | 合 唱           | 2     | 2     | 2     | 6       |                             |
|                   | 合 奏           | 2     | 2     | 2     | 6       | 作曲専門者を除く。                   |
|                   | 専 門 科 目       | 2     | 2     | 2     | 6       |                             |
|                   | 副 科           | ピ ア ノ | 1     | 1     | 1       | 3                           |
|                   | そ の 他         | 1     | 1     | 1     | 3       | 作曲・声楽・弦・管・打楽器のうち一つを選択履修できる。 |
| 音 楽 科 目 計         |               | 14~12 | 15~13 | 15~13 | 44~38   |                             |
| 教 科 以 外 の 教 育 活 動 | ホ ー ム ・ ル ー ム | 1     | 1     | 1     | 3       |                             |
|                   | ク ラ ブ 活 動     | 1     | 1     | 1     | 3       |                             |
| 合 計               |               | 38~36 | 38~36 | 39~37 | 115~109 |                             |

(『昭和51年度 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』12頁)

## 別表

## 教育課程表

(昭和53年4月改訂)

| 教科        | 科目      | 単位数   |       |       |         | 備考                          |
|-----------|---------|-------|-------|-------|---------|-----------------------------|
|           |         | 1年    | 2年    | 3年    | 計       |                             |
| 国語        | 現代国語    | 2     | 3     | 2     | 13      |                             |
|           | 古典Ⅰ乙    | 2     | 2     | 2     |         |                             |
| 社会        | 倫理・社会   |       |       | 2     | 2       |                             |
|           | 政治・経済   |       |       |       |         |                             |
|           | 日本史     | 2     | 1     | 1     | 4       |                             |
|           | 世界史     | 2     | 2     |       | 4       |                             |
| 数学        | 数学Ⅰ     | 2     | 2     | 1     | 5       |                             |
| 理科        | 物理Ⅰ     |       | 1     | 2     | 3       |                             |
|           | 生物      | 1     | 2     |       | 3       |                             |
| 保健体育      | 体育      | 3     | 3     | 3     | 9       |                             |
|           | 保健      | 1     | 1     |       | 2       |                             |
| 外国語       | 英語B     | 6     | 5     | 5     | 16      |                             |
| 普通科目計     |         | 21    | 22    | 22    | 65      |                             |
| 音楽        | 音楽理論    | 1     | 1     | 1     | 3       |                             |
|           | 音楽史     | 1     | 1     | 1     | 3       |                             |
|           | ソルフェージュ | 4     | 5     | 5     | 14      |                             |
|           | 合唱      | 2     | 2     | 2     | 6       |                             |
|           | 合奏      |       |       |       |         |                             |
|           | 専門科目    | 2     | 2     | 2     | 6       |                             |
|           | 副科      | ピアノ   | 1     | 1     | 1       | 3                           |
| その他       |         | 1     | 1     | 1     | 3       | 作曲・声楽・弦・管・打楽器のうち一つを選択履修できる。 |
| 音楽科目計     |         | 10~12 | 11~13 | 11~13 | 32~38   |                             |
| 教科以外の教育活動 | ホーム・ルーム | 1     | 1     | 1     | 6       |                             |
|           | クラブ活動   | 1     | 1     | 1     |         |                             |
| 合計        |         | 33~35 | 35~37 | 35~37 | 103~109 |                             |

(『昭和53年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』12頁)

## 別表

## 教育課程表

(昭和54年4月改訂)

| 教科        | 科目      | 単位数   |       |       |         | 備考 |                             |
|-----------|---------|-------|-------|-------|---------|----|-----------------------------|
|           |         | 1年    | 2年    | 3年    | 計       |    |                             |
| 国語        | 現代国語    | 2     | 3     | 2     | 13      |    |                             |
|           | 古典Ⅰ乙    | 2     | 2     | 2     |         |    |                             |
| 社会        | 倫理・社会   |       |       | 2     | 2       |    |                             |
|           | 政治・経済   |       |       |       |         |    |                             |
|           | 日本史     | 2     | 1     | 1     | 4       |    |                             |
|           | 世界史     | 2     | 2     |       | 4       |    |                             |
| 数学        | 数学Ⅰ     | 2     | 2     | 1     | 5       |    |                             |
| 理科        | 物理Ⅰ     |       | 1     | 2     | 3       |    |                             |
|           | 生物      | 1     | 2     |       | 3       |    |                             |
| 保健体育      | 体育      | 3     | 3     | 3     | 9       |    |                             |
|           | 保健      | 1     | 1     |       | 2       |    |                             |
| 外国語       | 英語B     | 5     | 5     | 5     | 15      |    |                             |
| 普通科目計     |         | 20    | 22    | 22    | 64      |    |                             |
| 音楽        | 音楽理論    | 1     | 1     | 1     | 3       |    |                             |
|           | 音楽史     | 1     | 1     | 1     | 3       |    |                             |
|           | ソルフェージュ | 4     | 5     | 5     | 14      |    |                             |
|           | 合唱      | 3     | 3     | 3     | 9       |    |                             |
|           | 合奏      |       |       |       |         |    |                             |
|           | 専門科目    | 2     | 2     | 2     | 6       |    |                             |
|           | 副科      | ピアノ   | 1     | 1     | 1       | 3  | ピアノ専攻者を除く。                  |
|           |         | その他   | 1     | 1     | 1       | 3  | 作曲・声楽・弦・管・打楽器のうち一つを選択履修できる。 |
| 音楽科目計     |         | 11~13 | 12~14 | 12~14 | 35~41   |    |                             |
| 教科以外の教育活動 | ホーム・ルーム | 1     | 1     | 1     | 6       |    |                             |
|           | クラブ活動   | 1     | 1     | 1     |         |    |                             |
| 合計        |         | 33~35 | 36~38 | 36~38 | 105~111 |    |                             |

(『昭和54年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』12頁)

## 別表

## 教育課程表

(昭和55年4月改訂)

| 教科        | 科目      | 単位数   |       |       |        | 備考                       |
|-----------|---------|-------|-------|-------|--------|--------------------------|
|           |         | 1年    | 2年    | 3年    | 計      |                          |
| 国語        | 現代国語    | 2     | 2     | 3     | 13     |                          |
|           | 古典 I 乙  | 2     | 2     | 2     |        |                          |
| 社会        | 倫理・社会   |       |       | 2     | 2      |                          |
|           | 政治・経済   |       |       |       |        |                          |
|           | 日本史     | 2     | 1     | 1     | 3      |                          |
|           | 世界史     | 1     | 2     |       | 3      |                          |
| 数学        | 数学 I    | 2     | 2     | 1     | 5      |                          |
| 理科        | 物理 I    |       | 1     | 2     | 3      |                          |
|           | 生物      | 1     | 1     | 1     | 3      |                          |
| 保健体育      | 体育      | 3     | 3     | 3     | 9      |                          |
|           | 保健      | 1     | 1     |       | 2      |                          |
| 外国語       | 英語 B    | 5     | 5     | 5     | 15     |                          |
| 普通科目計     |         | 19    | 20    | 19    | 58     |                          |
| 音楽        | 音楽理論    | 1     | 1     | 1     | 3      |                          |
|           | 音楽史     | 1     | 1     | 1     | 3      |                          |
|           | ソルフェージュ | 4     | 5     | 4     | 13     |                          |
|           | 合唱      | 3     | 3     | 4     | 10     |                          |
|           | 合奏      |       |       |       |        |                          |
|           | 専門科目    | 2     | 2     | 2     | 6      |                          |
|           | 副科      | ピアノ   | 1     | 1     | 1      | 3                        |
| その他       |         | 1     | 1     | 1     | 3      | 声楽・弦・管・打楽器のうち一つを選択履修できる。 |
| 音楽科目計     |         | 11~12 | 12~14 | 12~14 | 35~40  |                          |
| 教科以外の教育活動 | ホーム・ルーム | 1     | 1     | 1     | 6      |                          |
|           | クラブ活動   | 1     | 1     | 1     |        |                          |
| 合計        |         | 32~33 | 34~36 | 33~35 | 99~104 |                          |

(『昭和56年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』12頁)

## 別表

## 教育課程表

(昭和56年4月改訂)

| 新課程           |          |       | 旧課程     |       |       |        | 備考 |                          |
|---------------|----------|-------|---------|-------|-------|--------|----|--------------------------|
| 教科            | 科目       | 単位数   | 科目      | 単位数   |       |        |    |                          |
|               |          | 1年    |         | 2年    | 3年    | 計      |    |                          |
| 国語            | 国語 I     | 4     | 現代国語    | 2     | 3     | 13     |    |                          |
|               |          |       | 古典 I 乙  | 2     | 2     |        |    |                          |
| 社会            | 現代社会     | 2     | 倫理・社会   |       | 2     | 2      |    |                          |
|               |          |       | 政治・経済   |       |       |        |    |                          |
|               |          |       | 日本史     | 1     |       | 3      |    |                          |
|               |          |       | 世界史     | 2     |       | 3      |    |                          |
| 数学            | 数学 I     | 2     | 数学 I    | 2     | 1     | 5      |    |                          |
| 理科            | 理科 I     |       | 物理 I    | 1     | 2     | 3      |    |                          |
|               |          |       | 生物      | 1     | 1     | 3      |    |                          |
| 保健体育          | 体育       | 3     | 体育      | 3     | 3     | 9      |    |                          |
|               | 保健       | 1     | 保健      | 1     |       | 2      |    |                          |
| 外国語           | 英語 I     | 4     | 英語 B    | 5     | 5     | 14     |    |                          |
| 普通科目計         |          | 18    |         | 20    | 19    | 57     |    |                          |
| 音楽            | 音楽理論     | 1     | 音楽理論    | 1     | 1     | 3      |    |                          |
|               | 音楽史      | 1     | 音楽史     | 1     | 1     | 3      |    |                          |
|               | ソルフェージュ  | 4     | ソルフェージュ | 5     | 4     | 13     |    |                          |
|               | 合唱<br>合奏 | 3     | 合唱      | 3     | 4     | 10     |    |                          |
|               |          |       | 合奏      |       |       |        |    |                          |
|               | 専門科目     | 2     | 専門科目    | 2     | 2     | 6      |    |                          |
| 副<br>科        | ピアノ      | 1     | 副<br>科  | ピアノ   | 1     | 1      | 3  | ピアノ専攻者を除く。               |
|               | その他      |       | 副<br>科  | その他   | 1     | 1      | 2  | 声楽・弦・管・打楽器のうち一つを選択履修できる。 |
| 音楽科目計         |          | 11~12 |         | 12~14 | 12~14 | 35~40  |    |                          |
| 教科以外の<br>教育活動 | ホーム・ルーム  | 1     |         | 1     | 1     | 6      |    |                          |
|               | クラブ活動    | 1     |         | 1     | 1     |        |    |                          |
| 合計            |          | 31~32 |         | 34~36 | 33~35 | 99~104 |    |                          |

(「昭和57年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧」12頁)

## 別表

## 教育課程表

(昭和57年4月)

| 教科    | 科目      | 単位数   |       |       |         | 教科<br>単位<br>数計 | 備考 |
|-------|---------|-------|-------|-------|---------|----------------|----|
|       |         | 1年    | 2年    | 3年    | 計       |                |    |
| 国語    | 国語 I    | 4     |       |       | 4       | 13             |    |
|       | 国語 II   |       | 4     |       | 4       |                |    |
|       | 現代文     |       |       | 2     | 2       |                |    |
|       | 古典      |       |       | 3     | 3       |                |    |
| 社会    | 現代社会    | 2     | 2     |       | 4       | 7              |    |
|       | 日本史     |       | 1     | 2     | 3       |                |    |
| 数学    | 数学 I    | 3     | 1     |       | 4       | 7              |    |
|       | 数学 II   |       | 1     | 2     | 3       |                |    |
| 理科    | 理科 I    | 2     | 1     | 1     | 4       | 7              |    |
|       | 生物      |       | 1     | 2     | 3       |                |    |
| 保健体育  | 体育      | 5     | 3     | 3     | 11      | 13             |    |
|       | 保健      | 1     | 1     |       | 2       |                |    |
| 外国語   | 英語 I    | 5     |       |       | 5       | 15             |    |
|       | 英語 II   |       | 3     | 3     | 6       |                |    |
|       | 英語 II C |       | 2     | 2     | 4       |                |    |
| 普通科目計 |         | 22    | 20    | 20    | 62      |                |    |
| 音楽    | 音楽理論    | 1     | 1     | 1     | 3       | 32<br>}        |    |
|       | 音楽史     | 1     | 1     | 1     | 3       |                |    |
|       | ソルフェージュ | 4     | 4     | 4     | 12      |                |    |
|       | 合奏 I・合唱 | 2     | 2     | 2     | 6       |                |    |
|       | 合奏 II   | 1     | 2     | 2     | 5       |                |    |
|       | 専攻実技    | 1     | 1     | 1     | 3       |                |    |
|       | 副科      | ピアノ   | 1     | 1     | 1       | 3              | 37 |
| その他   |         |       | 1     | 1     | 2       |                |    |
| 音楽科目計 |         | 10~11 | 11~13 | 11~13 | 32~37   |                |    |
| 特別活動  | ホーム・ルーム | 1     | 1     | 1     | 3       | 6              |    |
|       | クラブ活動   | 1     | 1     | 1     | 3       |                |    |
| 合計    |         | 34~35 | 33~35 | 33~35 | 100~105 |                |    |

(『昭和58年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』12頁)

6. 教育課程表

昭和61年度改訂（平成5年度以前入学生に適用）

| 教科          | 科 目         | 科 目 単 位 数 |       |       |           | 教科<br>単<br>位<br>数<br>計   | 備 考 |
|-------------|-------------|-----------|-------|-------|-----------|--------------------------|-----|
|             |             | 1年        | 2年    | 3年    | 計         |                          |     |
| 国語          | 国 語 I       | 5         |       |       | 5         | 15                       |     |
|             | 国 語 II      |           | 4     |       | 4         |                          |     |
|             | 現 代 文       |           |       | 3     | 3         |                          |     |
|             | 古 典         |           |       | 3     | 3         |                          |     |
| 社会          | 現 代 社 会     | 2         | 2     |       | 4         | 7                        |     |
|             | 日 本 史       |           | 1     | 2     | 3         |                          |     |
| 数学          | 数 学 I       | 2         | 2     | 1     | 5         | 5                        |     |
| 理科          | 理 科 I       | 2         | 1     | 1     | 4         | 7                        |     |
|             | 生 物         |           | 1     | 2     | 3         |                          |     |
| 保健<br>体育    | 体 育         | 5         | 3     | 3     | 11        | 13                       |     |
|             | 保 健         | 1         | 1     |       | 2         |                          |     |
| 外<br>国<br>語 | 英 語 I       | 5         |       |       | 5         | 16                       |     |
|             | 英 語 II      |           | 3     |       | 3         |                          |     |
|             | 英 語 II B    |           |       | 3     | 3         |                          |     |
|             | 英 語 II C    |           | 3     | 2     | 5         |                          |     |
| 普 通 科 目 計   |             | 22        | 20    | 20    | 62        |                          |     |
| 〔音<br>楽〕    | 音 楽 理 論     | 1         | 1     | 1     | 3(3~6)    | 32<br>、<br>37            |     |
|             | 音 楽 史       | 1         | 1     | 1     | 3(3~6)    |                          |     |
|             | ソルフェージュ     | 4         | 4     | 4     | 12(12~15) |                          |     |
|             | 合 奏・合 唱     | 3         | 4     | 4     | 11(6~12)  |                          |     |
|             | 専 攻 実 技     | 1         | 1     | 1     | 3(3~6)    |                          |     |
|             | 副<br>科      | ピ ア ノ     | 1     | 1     | 1         |                          |     |
|             | そ の 他       |           | 1     | 1     | 2         | 声楽・打楽器のうち一つ<br>を選択履修できる。 |     |
| 音 楽 科 目 計   |             | 10~11     | 11~13 | 11~13 | 32~37     |                          |     |
| 特別<br>活動    | ホ ー ム・ル ー ム | 1         | 1     | 1     | 3         | 6                        |     |
|             | ク ラ ブ 活 動   | 1         | 1     | 1     | 3         |                          |     |
| 合 計         |             | 34~35     | 33~35 | 33~35 | 100~105   |                          |     |

注1. 音楽科目の教科単位数計欄の( )内の数字は本校で決めた単位数基準である。

2. 1年体育5単位のうち、2単位は臨海学校、スキー学校で取得させる。

(『昭和61年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校要覧』16頁)

昭和四十四年より臨海学校が一年生の必修行事となり、翌四十五年にはスキー教室が開催される。以下は『創立四十周年記念誌』に掲載された校外合宿に関する文章である。

## 校外合宿

旧職員（保健体育科教諭） 本多 英 男

一度も面識のない清野教頭から赴任の声がかかって来たのは昭和四十四年一月の終わりか二月の初め頃であったと思う。すばらしい音楽的才能を持ち、最優秀で芸大に入学した芸高生が、その後、伸び悩み、実力を発揮できない学生が多いのは体力や精神面で高校生活に原因があるのではなからうか。音楽一辺倒の教育ではなく、普通科の高校生の教育の上にさらに音楽教育を施す。そのためには生活指導の充実、体力の向上がぜひ必要であるとの理念からの要請であった。それまでは体育の先生は非常勤講師であった。殆んどのが生が外国留学を夢見ているにも拘らず、外国音楽学生に較べて技術的にはより優れているが、体力不足、語学力が乏しいため実力を発揮できないと言う。こんな狭い運動場だけでは気持ち小さくなる。体力をつけるためには広い運動場を見つけよう。と言うことで新日鉄の浜田山のプールやグラウンド、銀行のプールやグラウンドまで足を伸ばした。銀行のプールやグラウンドを借りるためにはその銀行に預金しなければならなかった。国立高校にはそんな金があるわけがない。預金はすべて響和会の積立て金である。断られる度ごとにS銀行からK銀行、M銀行へと数回鞍変えをしたものだ。今までもプールで水泳指導をしていたが一年生は臨海学校を実施

しようと言うことになった。それは体力面や精神面で限界ぎりぎりまで挑戦させて鍛えようという考えと体育のカリキュラムの単位分を授業以外で消化しようという考えが根本にあった。大学からは阪口先生、梅原先生、山岡先生が応援指導して下さった。普通の学校の臨海学校と違って毎日午前中は二時間、午後は二時間半から三時間、隊形を整えながら、もくもくと遠泳をさせた。士気を鼓舞するための「えーんやこーら」のかけ声も音楽の三林先生によつて音階を変えたりして行われ、辛さを忘れさせた。

清野教頭、外山先生を始め、あまり水泳が得意でない戸川先生や三浦先生が四級の小型船舶操縦の免許を取得して下さり、皆様の協力があつたからこそできたものと深く感謝しています。あまり泳ぎが上手でないものも一日一日と水泳距離、時間を伸ばしていった。臨海後の生徒の感想はやはり、不可能なんてない、やれば出来るという自信の獲得であつたと思う。

実施してから四、五年後の臨海説明会で教頭と私が父母から抗議めいた話を受けたまわつた。臨海出発の日、子供と水杯をかわして出発すると言う話である。臨海では生死もわからない程絞られると言う飛語が先輩たちから伝わって来たためである。父母たちが岩井海岸に監視、監督に行くと言う。「どうぞ見に来て下さい」と言うことで父母たちも一泊でやつて来た。我々の指導には落度はなかった。遅しく、力の限りの三時間の遠泳から帰って来たわが子たちの勇姿を見て涙した父母も多かった。その臨海学校も終わり、東京駅に着いたら大半の生徒の父母が出迎えて下さり、説明会でのいきさつを詫び、先生方の労苦に対して帝国ホテルに招待したいと言う。疲れ

ているし、時間も遅いので辞退し、駅構内のレストランで慰労を受けた。そんな事で二十年間無事故でやって来たが、私自身出発前夜は神棚に柏手を打ち、無事安全を祈願し、「よし、やるぞ」と心に誓って出発したものだ。

指導要領の改定で体育の時間が増え、男子は柔、剣道、女子は家庭を履修しろと言う。校内には施設を作る所もなく、ちょうど希望を募ってスキー教室をしていたのをこの際、同様に一年生のスキー必修に切り替え、また「家庭」の授業もできないので「食物の実習を兼ねて野外生活をさせたら」と言うことになり、全校生による春合宿が実現した。一年生は二回の校外合宿があり、二、三年生には無いということ、一、二、三年の縦のつながりも音楽生活に必要なことという観点、それに都内でのグラウンド、体育館の確保が難しく、運動能力の一五〇〇m走や五十m走ができないこと、運動会をやめて球技大会にする、家庭科実習等、色々な配慮から春合宿が実現したのである。その内容として観光ホテルのテニスコートを利用しながらテニス指導、運動能力測定、根子岳登山、球技大会、野外炊飯等盛沢山予定された。

始めの頃は生徒にとつて根子岳の頂上へは苦しい登行だった者もいた。やっとの想いで頂上に到着するや征服の喜びもなく失神して眠り続けた生徒もいた。下山は気つけ薬として持って行った少量のウイスキーが役に立ったことも想い出として心に残っている。下山の際、野外炊飯のための薪を拾って帰ることもあった。生まれて始めての野外でのご飯作り、いつまでたっても薪に火がつかない班もあつて食事が出来なく現代っ子は大いに苦労していた。東京では広

いグラウンドが借りられないため、菅平で一五〇〇m走を実施したが、九〇〇mの高地のため気圧が低く、生徒には大変不利であったが、考え様によつては高地トレーニングをやった様なものでした。

そんな経緯で合宿が続けられたわけだが、清野教頭の考えの中には水泳、スキー、テニスの三種の神器が何とかな身に着けられれば、外国へ留学しても外人教授たちと余暇を楽しく善用することもできると考えていらつしやつた様だ。因みに留学した学生から、あの臨海学校で頑張つたことが留学生活の中で本当に役に立つたと語つてくれた学生もいました。また、いや、もう一つ留学生活の中で足りないものがあつたと連絡して来た学生もいた。それは附属でも芸大でもソシアルダンスの基礎を一度も教えてもらえなかつたという事でした。反省しています。

どうぞ現役の皆さんも体力をつけ、遅しく、どんなストレスにも負けずに立ち向かつていける強い精神力を身に付けてもらいたい。

「精神一到何事か成らざらん」

(横組)

(「創立四十周年記念誌」東京藝術大学附属音楽高等学校 平成六年十月 二六～二七頁)

『芸高二十年のあゆみ』より、創立二十周年記念行事の内容、ならびに当時の清野教頭による記念論文を掲載する。

## 記念行事

昭和四十九年十一月九日(土)

式典

10・30～11・30(三階ホール)

1. 開会あいさつ (清野教頭)

2. 奏 楽

3. 式 辞 (長谷川校長)

4. 祝 辞 (石桁音楽学部長、城多初代校長、福井全日音研会長)

5. 合 唱

6. 閉会あいさつ

祝賀会 13・30～15・30 (三階ホールほか)

1. 開会あいさつ (中井実行委員長)

2. 事業報告

3. 謝辞、感謝状贈呈

4. 乾 杯 (福井学長)

5. お祝いのことば

6. 懇 談

7. 閉会あいさつ

演奏会 11・45～13・15 (日仏会館ホール)

1. ホルン独奏

ピアノ伴奏 山本 真 (十回卒)  
小野悦子 (十三回卒)

1. Romance .....Saint-Saëns

2. Chant Lointain .....E. Bozza

3. Chant sans Paroles .....R. Clerisse

4. Variations .....A. Dupuis

5. Canon in Octave .....Françaix

2. 弦楽四重奏 第一バイオリン 上野真樹 (十六回卒)

第二バイオリン 山中 光 ( )

ピ オ ラ 東 義直 ( )

セ ロ 寺井庸裕 (賛 助)

Quator Op. 59 Nr. 2 .....Beethoven

Dem Grafen Rasumoffsky gewidmet

Allegro - Molto Adagio - Allegretto - Presto

3. ピアノ独奏 外山 準 (一回卒)

Fantasia Op. 17 .....Schumann

### 記念事業

創立二十周年を記念して、実行委員会では、東京芸術大学美術学部の先生方のご協力により、油絵九点を学校に寄贈することとした。先生方の氏名および作品は次の通り。

羽生 出「景(サモワール)」 (五十号の変形)

田代甚一郎「ポワール」 (二十号の変形)

横森幹男「横たわる女」 (二十号のF)

渡辺 宏「ばらと女」 (三十号の変形)

太田国弘「室内」 (三十号の変形)

峰見勝藏「風景」 (二十号のF)

渡辺 桂「空間から空間へ」 (三十号のF)

塩川高敏「兄妹」 (三十号のP)

創立二十周年記念事業実行委員

名誉委員長 長谷川良夫

実行委員長 中井晃二

〃 副委員長 山田潔、増井敬二、清野澄夫

相談役 山崎英夫、絹村正平、矢島国久

実行委員 馬場信嘉、鈴木良高、鈴木彰、吉村孝夫、庭野美、

松本敏夫、中村蓋世、迫勝義、大住欣一、阿部久郎、

長谷部昌雄、石丸五雄、蓼沼謙一、中山武、中島敏

雄、戸川栄一、本多英男、外山浩爾、小笹芳友、梅

谷進、和久和一、伊藤良平

〔横組〕

（芸高二十年のあゆみ）東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校 昭和四十九年十一月九日 七〇～七一頁

## 音楽教育の一考察

清野澄夫

### 《はじめに》

一口に音楽教育といっても、広義には学校教育の中の音楽教育と、学校以外の社会機関によって行われている音楽の教育も含まれる。ごく一般的な意味では学校教育の中の音楽教育を指しているが、それにしても小学校におけるような初等教育での音楽教育もあれば、中学校、高等学校における中等教育段階でのそれもあり、この中にも普通課程高校でのものと専門課程高校での内容はおのずから異なり、高等教育段階でも専門家養成と教員養成大学では、目標も内容も違っているので、これらを一律に論ずることは愚か者の謗りを受けるに過ぎない。

そこで、ここでは公教育機関での音楽教育を総合して考察を試み、併せて本校のような専門課程におけるそれとの関連について私見を述べたいと思う。

### 《音楽教育の成長》

わが国に西洋音楽が輸入されて、約百年の歳月がたった。西洋音楽は、もともと民族的色彩が濃いわが国の伝統音楽とは多分に異質なものであったから、入ってきた頃の十数年は、何をどのようにしてやるのか、その殆んどが全く暗中摸索という状態であり、教える者も、それを受ける者も、現在から見れば至極滑稽というほかいよいよの状況であつたらしい。

にもかかわらず、わが日本民族はヨーロッパの民族が千年、二千年という長い歴史を要して作りあげたその音楽を、伝統や習慣、風俗や言語などの著しい違いをのり越え、わずか百年そこそこの短かい年月で、ヨーロッパの水準に到達する程の成長をなし遂げたのである。

特に小学校、中学校などの基礎教育段階における音楽教育の発展と普及は、昭和二十年の戦争終結を境にして、まさに驚嘆に値する程の成長をみせている。

私が知る限りでの戦前の公教育における音楽教育といえは、一台のオルガンあるいは一台のピアノが音楽科のすべての楽器であり、その楽器により《唱歌》という名称のもとに、明けても暮れても耳移し、口移しの方法による訓育的教材の授受が、その授業内容のすべてであった。

それが今や、義務教育段階において、制度的にはわが国古来から

の教育制度の中で不変的中心をなしてきた《読み、書き、算盤》などの科目と同等の位置付けになり、名称も《音楽》と変わり、内容的には《基礎、歌唱、器楽、創作、鑑賞》という領域区分を設け、これらを有機的に結合させることに指導目標を掲げたものとなつていく。しかも学習は児童生徒の心身の発達段階に依りて、系統的に組まれており、学習指導要領の内容は戦前では想像もされないまでに進んでいる。

その上、近年の著しい科学技術の発達や、高度経済成長によつて、いろいろの楽器が開発、量産され、それらが学校や児童、生徒の身に豊富に供給される状態となり、彼等の表現技術は全く驚くべき成長を遂げ、既にヨーロッパのこの年代における技術水準に到達し、ある分野ではその水準を越えるまでの成長をとげている。

従つて専門家分野における技術も、一般的な意味ではヨーロッパのそれを越え、少々オーバーな表現をすれば、今や専門家の輸出時代ともいえる状態を呈するまでに至つてるといえよう。

《この成長はほんもの成長であるか》

さて、以上述べてきたように、ヨーロッパにおけるその音楽の歴史からみれば、わが国では極めて短かい年月の間に成長した西洋音楽であるが、それは音楽の本質である《音楽性》を伴つた《ほんもの》の音楽の成長であろうか。日本人は手先の器用さと物真似のうまさでは世界に定評があるが、私はこの成長について、それは器用さと物真似を主としただけの成長ではないかと思うのである。

もち論、そのすべてがほんものでないかと断定するわけではないが、ほんものとするにはあまりにも疑問点がありすぎる。

例えば、学校教育の中で音楽はあれ程高い技術の演奏をしながら、それが校門を一步も出ていない実態や、健全な音楽が音楽教室だけで終つている現象、小学校であれ程の立派な演奏をしたものが、中学校へ進むと音楽の学習に全く消極的になつてしまうことや、同じように中学校では音楽の学習に情熱をもやした生徒が、高校進学に伴つて音楽から回避してしまつていく多くの事例を見ると、あの音楽は、教師の一方的なおし着せによつて外面的にのみ虚飾された、器用さによる物真似音楽でしかなかつたのではあるまいか。

その音楽が、彼等の精神的内面まで浸透していた《ほんもの》の音楽であつたら、より深い内面的充実を求めようとするのが人間の本能でもあり、教室で学習した音楽は彼等の日常生活に表出再現されるのが自然であり、また成長するに従つて音楽の学習から逃避していくような現象とはならない筈であろう。

学校教育で音楽を教える意義は、その音楽を日常生活の中に定着させることによつて、創造性や情操を育成することにある。

従つて、高度な技術による演奏が、ただ教室内に留まり、それが彼等の日常生活に布衍されなければ、たいした意義はない。

それは学校教育の直接的意味と同じことでもあり、科目の性格によつて多少の差はあろうが、学校で学習されたものが彼等の日常生活に還元されないことがあつたら、学校教育の意味をどう考えよう。例えば学校では道徳が学習されているのに、一步学校を出たらそれが全く行われないうことに、その意味をどう結びつけるのであろうか。

《学校音楽校門を出ず》にはいろいろの説がある。学校教育と世

相に隔りがあり過ぎるという論がその一つである。マスコミが悪いという論もその一つであり、教材がよくないということもいわれている。また音楽の教師自身がよくないという説も論外ではない。

これらの論を全く無視して、《学校音楽校門を出ず》を論ずることは、あまりにも単純すぎるが、音楽教育の原点に立つて考えるならば、音楽教育が《ほんもの》のそれではなかったことに最大の原因があると考えられないであろうか。

#### 《音楽教育における三つの反省》

しからは《ほんもの》の音楽教育とは如何なるものを指しているのか。それは先にも述べた通り、単なる外面的技術だけに終ることのない、音楽のもつ本質、教育がもつ意義に立脚した《まことの音楽》を感得させる音楽教育でなければならないといえよう。

そこで、音楽教育がもつこの問題での欠陥をあげ、音楽教育における、私自身を含めての反省の資料にしたいと思うわけである。

欠陥の第一は、現在の音楽教育は児童、生徒に音楽的感得させる教育、あるいは感得を得させるまでの教育がなされていないということである。

音楽教育がもつ最終的な目標は、音楽の演奏や音楽の鑑賞などから、彼等に音楽的感得を得させることにある。

この感得こそが美に憧憬し、よりよい音楽を求める心を作る。そして感得の体験は、成長するに伴ってより深くより大きい感得を得ようとする意欲を起し、それが情操の育成に発展していくのが自然の条理である。

運動の選手が何ヶ月も苦しい練習を重ねるのは、一度感得した感

動のより高いそれを求めるからであり、登頂の感動を味(わ)った登山者が生死の境をさまようような危険を冒してまで、次々と高い登頂に挑むのも、より大きな感得を求めるからにはかならない。

感得はどんなことをしていても得られるというものではないし、安易に得られるものでもないが、何よりも教師にそうした指導姿勢がなければ、いつになってもそれは得られないものである。

演奏会や教室で見事な名演奏を示した生徒たちが、上級に進むに伴って音楽から遠ざかったり、その音楽が校門を一步も出ないという現象は、その音楽が教師によって押し売りされ、おし着せされた猿真似音楽であり、感得などとは縁もゆかりもないものであったのであるといわざるを得ない。

感得のない音楽教育は、如何に技術的にすぐれても、教育としては何の存在価値もない。徒らなるアクロバットの技術の育成による、教師一人の自己陶醉型教育を改め、生徒が音楽学習の中で真に感得を会得する方向での指導姿勢を、今こそ持つべきである。

音楽教育における第二の欠陥は、表現技術を育成する教育において、《応用力のきく基礎技術》の指導がなされていないことである。

これは明治以来連綿と続けられてきた唱歌教育の方法上の一大欠陥であるが、一つの歌曲を歌わせ、一つの合唱曲を学習させるに当たって、それらの曲のまとめを急ぐあまり、音程やリズムなどの基礎練習を通り越し、直ちに口移し、耳移し的な方法によって、それを盲目的に暗記(暗譜ではない)させる指導方法がそれであり、現在流にいえばソルフェージュを欠いた音楽教育ということになる。

ソルフェージュを欠いた音楽教育はどうなるか。舞台上で演奏され、

教室で歌われる生徒たちの表現技術はたいへん立派なものであるが、それはその曲だけを演奏するために盲目的反覆練習によって作りあげられた暗記のものであり、曲が変わればその技術は殆ど用をなさなという技術ができあがるのである。

その結果は、読譜力というものが養成されず、如何に易しい曲であつても、新しい曲の学習は自らの力だけではどうにもならず、常に教師の指導に頼らざるを得ないという現象を作つてしまうのである。

これでは彼等が耳移して簡単におぼえられる流行歌などのポピュラー音楽に、日常の音楽を求めるのはむしろ当然といえよう。

最近どここの学校へ行つても、教師はまるでお題目のように音楽教育における《創造性の開発》を唱えているが、ソルフエージュを欠いた音楽教育でいつた何の創造性が開発されるというのであろうか。

幸いにも今度改訂された小、中、高校の学習指導要領では《基礎》の領域を新設し、ソルフエージュ指導の重視を求めている。今頃になつて、という遅きに失した誇りもあるが、欠陥を改めることに時機の云々はない。

これまでの音楽教育の重要な反省として、ソルフエージュを充実する方向に教育姿勢を改めるべきである。これこそが《創造性の開発》に繋がり、地についた音楽教育の確立に結びつく道なのである。第三の欠陥は音楽教育の中で《聴く》ことをないがしろにしていることがあげられる。

音楽は聴くことによつて始まり、聴くことに終るものであるとい

える。

演奏にはその瞬間瞬間、常に聴くことが伴う。演奏者は聴くことによつて反射的に自己の演奏をコントロールしていくのが普通の状態であるが、聴覚がよく訓練されていなかったり、聴覚が演奏の舵をとる能力のない場合は、演奏と聴くことはそれぞれ別の世界にあつて、この両者は結びつかない。

こうなると、表現技術の方は反覆練習によつて、例えば音域が広くなつたとか、速く弾けるようになったとかの上達はあがるが、音楽的な進歩がそれに伴つてこない。

聴く能力の育成は表現技術の場合と同じ性格としては考えられないが、絶えざる反覆によつてその能力が養われていくことでは、基本的に全く同一である。

従つて、音楽の学習の中で、絶えず自分自身の演奏、友だちの演奏を注意して聴かせる指導方法をとることや、鑑賞の領域を重視して名曲、名演奏に接する機会を多くする指導方法が必要となる。

技術の指導はその上達の程度が逐次実音となつて教師にはね返つてくるので、教師も勢い指導に熱が入るが、鑑賞という授業は、生徒がどの程度理解したのか漠然とした結果すら掴めない。こうしたことから音楽教師の大部分は鑑賞という分野の教育をとかくないがしろにしているのが、その実態である。

鑑賞の教育効果は、その時間にすぐ現われてくるというようなものではないが、反覆して行なう中で、あるときは精神的分野に突然現われたり、技術の分野に還元されて現われてくるものなのである。教育効果を急ぐあまり技術偏重になりがちな音楽教育の弊害は、こ

のあたりで終止符をうってもよからう。

また鑑賞教育はその楽曲と演奏から、音楽的感動を得させることでは最適の学習領域でもあり、いまやわが国の音楽教育において推進しなければならぬ重要な領域である。

以上、音楽教育の中にある欠陥を述べてきたが、これらが改善されたといつて直ちに学校音楽が巷に進出するわけではない。しかし学校教育に限っていえば、小学校での欠陥が中学校音楽の発展を拒み、中学校でのそれが本校のような高校にも音楽教育上の支障をもたらしているのは厳然たる実態である。

#### 《公教育と音楽課程高校について》

学校教育法には、《中学校の教育は小学校教育の基礎に立つて……》《高等学校の教育は中学校での基礎に立ち……》とする規定がある。ということとは、小学校の教育は中学校の、中学校の教育は高校での教育をそれぞれ受け得る能力を養成することが、教育の実際になると考えてよい。

そして、中学校、高校における大部分の科目は、その科目の性格や一部生徒の能力格差などから多少の抵抗はあっても《基礎に立つて》の教育はスムーズに行われているといえる。生徒は小学校、中学校において、それぞれの授業内容がある程度十分に消化してさえいれば、中学校、高等学校へ進んでも、それぞれの教科の内容が自然に把握できるのが通常のすがたである。

これは高校受験、大学受験という入学試験の場でも同じであり、普通高校や一般の大学の入試では、生徒は現在の学校での授業内容を消化してさえいれば、特殊な特別指導を受けなくとも十分に入試

に臨めるのが、これまた通常のすがたといえる。

ところが、音楽関係の学校での音楽科目の場合はどうであろうか。本校を含めた専門課程高校においては、小、中学校で、学校における音楽科目の授業内容をたとえ完全に消化したとしても、それだけの程度では、高校での専門科目の場ではどうにもならないというのが実態である。

いや、授業以前に入学試験という関門があり、ここでは小、中学校における音楽教育の消化どころか、普遍的であるべき小、中学校における正常な学校教育を積極的に消化不良や未履修にしてまでも、専門の音楽科目の特別指導を受けてこなければ、その関門に臨むことさえもできないのである。

冒頭で、小、中学校の音楽教育はまさに驚くべき成長を遂げていることを述べたが、小、中学校の基礎に立つ高校でありながら、専門課程高校での音楽についてはそれが全く適用されない実態は、どのように考えるべきなのか。少なくとも正常とはいえない。

#### 《本校を受験しにくる生徒たち》

本校を受験しにくる生徒はその何れもが小、中学校で、それぞれの音楽教育を受けてきた者たちであり、先に述べた音楽教育の欠陥はもとより、それとは異質の次元での目にあまる程の欠陥を身につけてくる。

つまり、この年間に強いられた不正常きわまる学業形態や学習態度によつてもたらされた欠陥産物の数々がそれである。

それは、調和のとれた心身の発達をうたう学校教育の理想からは遠くはずれたものであり、むしろ教育以前の分野に属するようなこ

とでさえある。

つまり、本校での専門科目が要求する技術の程度が、異常ともいえる高水準なため、本校を志望する生徒たちが、小、中学校九年間の中で強いられる異常な生活がそれである。

彼等はこの年代において、その全生活をただ一途に技術の練習に充てるという毎日を九年間も続けなければならないのである。

このため、普遍的である小、中学校教育の中で、普通科科目の学習は、できる限りこれを消極的学習に留め、身体の訓練を主とする体育や、それらに関する運動会、夏季施設などの学校行事は親との共同作戦でこれを回避し、人間関係の樹立を目指すクラブ活動や生徒会活動はもとより、集団生活の経験を出発点として人間形成を目標とむ修学旅行などの徳育的行事は、巧妙なる理窟付けによってこれから逃避し、これらによって消耗を免れたエネルギーを技術の練習に充てるというような形態での毎日を送ってきた者、送らせられてきた者、それが本校受験生の大部分である。

彼等の生活は音楽が中心であり、思考の基本もわたくしの音楽であるから、学校行事や授業をさぼることは何ら躊躇をしない。

そしてまた、これらの生徒たちは、家庭においては異常ともいえる過保護の親たちによって、対人関係をはじめとする日常生活における基本的習慣すら躰けられず、また友だち同志との対話や遊びの体験をもたずに、自主性や協調性などの育成の場も与えられず、思考といい、行動といいそれらのすべてが全く自己中心であるという形態の生活を身につけてきた者たちなのである。

また、自分の専門音楽に専念するため、他の分野の学習を疎かに

してまでとり組んできた音楽においても問題はなくはない。

専門家養成教育の要は早期教育にあることはこの世界の定説で、今や常識ですらある。

従って幼い時からの専門的教育は大いに歓迎される場所であるが、それが専門にのみ走りすぎるために生ずる、いわゆる《専門馬鹿》が音楽学習上における、大きな欠陥である。《専門馬鹿》は、この年代にこそ必要欠くべからざる、音楽についての幅広い学習を欠いているため、音楽の知的分野に属すること、鑑賞面に属する知識は殆どなく、そのため、音楽を客観的にとらえようとする習慣がなく、その能力も乏しい。その結果、自分以外の音楽はすべてこれを否定してしまうというような、かたくなな音楽観の持主として成長してきているのである。

また、学校では《移動ド》レッスンでは《固定ド》と、その両方を、それ程の包容力や選別的咀嚼力をもち合わせない、この年代に強いられただめか、旋律感や調性感も確立されておらず、音程感覚もあいまいであるような音楽能力の持主となっている。

小、中学校における音楽教育はあくまでもこの年代の段階における一般的な音楽教育であるから、専門家志望を目指す者はそれなりの特別教育を受けなければならないことは、ある程度当然であり、専門高校の立場からしても、この年代にこの程度までの技術は、ということの要求も当然である。

しかし、以上に述べた目にあまる異常な実態について、教育制度の当事者はどう考えるのか、また実態をもろに受ける教育現場ではどのように考えるべきであるのか。

何れにしても、専門家養成教育の著しい成長と普及発展がもたらした教育的悲劇ともいふべき問題であり、このまま放置してよいものではあるまい。が、音楽教育という分野だけでは、もはやどうにもならぬ問題である。

#### 付記《本校の教育》

本校の教育方針は、何よりも生徒の自発的自主的学習を根幹にするという現在流行の教育姿勢からみれば、十分に前近代的であり、時代逆行とか封建的とかいう誇りを受けるに十分事足るそれである。それは、本校を受験した性格欠陥生の大部分は入学試験で整理されるが、未整理に終わった者の数もかなりあり、先に述べた人間上の特徴と音楽上のそれらを豊富に兼ね備えた、この種の生徒たちの人間修繕を、まず教育の出発点としなければならないからである。

この種のや・つらに限って小、中学校年代における不正常的な学業態度への反省がなく、その上親たちを含めて大音楽家が約束されたような錯覚をもつ、始末の悪い種族なのである。

ひと昔、あるいはふた昔前、西洋音楽がまだわが国に定着せず、大衆も音楽のなかを理解していなかった時代は、音楽家の数も少なく、すこし変わった作品を書いたり、人よりすこし楽器をうまく弾いたというだけで、世間は音楽家としての地位を躊躇なく与えるといった、音楽家を志さず者にとつては、こよなくよい時代があった。

頭も悪く体も弱いので人並の生活が困難であろうから、音楽家にも育てようという、音楽家の《でもしか》風潮が生れた時代である。この時代は人間的に正常でない欠陥人間を、むしろ芸術家のイ

メージとする社会思潮さえもあつたのである。

しかし、でもしか音楽家は、この時代とて長年月、その存在が認められていたわけではなく、所詮は暁の明星として消えていったのであるが、芸術音楽が著しい勢いで普及発展し、音楽人口が急速に増えた現在は《でもしか》に類する音楽家などは、暁の明星的存在すら許されない。

現在の社会が芸術音楽家に求める条件は、異常な程多面的であり、その程度も内容も著しく高度である。

それは、まず音楽の技倆が抜群にすぐれていることはいうまでもないが、幅広い教養と高い見識をもっていること、そして健全な心とすぐれた体力の持主であることも、さらに何よりも人間的にすぐれ、溢れる程の創造力を秘めている人間であることを、一つの例外をも認めずに要求することがこれである。

芸術は全人格の上でのみ成る、ことからすればこれらの要求は至極当然のことであり、世の人々に感銘を与える音楽というのは、こうした諸条件を備えた音楽家によつてのみ生み出されるものであると断定できよう。

そして世相が複雑になればそれだけ、これらの条件の一つ一つに、より高いものが要求されることになる。

本校は音楽家の養成を目指す専門課程の高校であり、いふなれば、生徒個々に対してこれらの諸条件を備えさせることが、その教育のすべてである。

もち論この教育の成果は、今後何十年という後になってはじめて現われてくるものであり、その時点で客観的に評価されるであろう

から、いまはこのようにでかいことを言ってもおとがめは受けまい。  
以上、雑然と文を連ねてきたが、標題の意図と内容がかなりくい  
違う散文的レポートになってしまったことに冷汗を覚える。  
また、あたりさわりがあつたら、いつもの放言として受けとめて  
もらえば幸いである。

(本校教頭)

〔横組〕『芸高二十年のあゆみ』東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校 昭和四十  
九年十一月九日 七〜二五頁)

創立三十周年記念事業の概要を次に示す。

### 創立三十周年記念行事・記念事業の記録

#### 記念行事

昭和五十九年十月十七日(水)

●演奏会 東京文化会館大ホール (18・30〜)

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第十一番 長調 KV. 413

W. A. MOZART: Klavier-Konzert Nr. 11 F-dur, KV. 413

指揮、ピアノ独奏 アンリエット・ピュイグロジエ (特別出演)

管弦楽 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校オーケストラ

プーランク：六重奏曲

F. POULENC: Sextuor pour Piano, Fl, Hb, Cl, Bsn et Cor.

Fl. 白尾 彰 Ob. 北島 章(賛助出演) Cl. 山本正治

Hr. 山本 真 Fg. 堂坂清高 P. 植田克己

菊地雅春・片耳の大鹿

Fl. 一木瑛美 Cl. 木村健雄 Timpani. 永曾重光  
Marimba. 藤井むつ子 Cb. 星 秀樹

メンデルスゾーン：八重奏曲 作品10

F. MENDELSSOHN: Octet for 4 Violins, 2 Violas and 2

Violoncollos op. 20

Vn. 浦川宜也 瀬戸瑤子 大川内 弘 井上将興

久合田 緑 大谷康子 天満敦子 七沢清貴

Vla. 兎束俊之 生沼誠司 百武由紀 大野かおる

Cello. 藤田隆雄 毛利巨塵 渡辺真帆子 小山みどり

J. S. バッハ：四台のチェンバロのための協奏曲イ短調 BWV. 1065

J. S. BACH: Konzert a-moll für 4 Cembali BWV. 1065

Piano 1. 遠藤郁子 Piano 2. 海老彰子

Piano 3. 藤井一興 Piano 4. 小山実稚恵

管弦楽 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業生有志

指揮 佐藤功太郎

ワグナー：「ニルンベルクのマイスタージンガー」より第一幕へ

の前奏曲

R. WAGNER: Die Meistersinger von Nürnberg, Vorspiel 1

Aufzug

管弦楽 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業生有志

指揮 佐藤功太郎

出演者

浦川宜也 VI

元バンベルグ響コンサートマスター、  
芸大教授

瀬戸瑠子 VI

新日フィルコンサートマスター、芸大  
非常勤講師

大川内 弘 VI

日本フィルコンサートマスター  
東京音大講師

井上将興 VI

久合田緑弦楽四重奏団主宰

久合田 緑 VI

大谷康子 VI

東京シティーフィル・コンサートマス  
ター

天満敦子 VI

ロン・ティボーコンクール特別銀メダ  
ル、第四十三回毎日音楽コンクール第  
一位

七沢清貴 VI

神奈川フィル・コンサートマスター  
元N響、ミュンヘン放送響首席、芸大、  
東京音大講師

兔束俊之 VIa

久合田緑弦楽四重奏団 古典音楽協会  
室内合奏団

生沼誠司 VIa

東京都響  
第一回ターティスヴィオラコンクール  
特別賞

百武由紀 VIa

大野かおる VIa

藤田隆雄 Cello

毛利巨塵 Cello

渡辺真帆子 Cello

小山みどり Cello

白尾 彰 FI

山本正治 CI

山本 真 Hr

堂坂清高 Fg

木村健雄 CI

一木瑛美 FI

星 秀樹 CB

永曾重光 Timpani

藤井むつ子 Marimba

植田克己 P

菊地雅春 作曲

佐藤功太郎 指揮

遠藤郁子 P

海老彰子 P

藤井一興 P

勤講師

ジュネーブ・コンセルヴァトワール卒

第五十回毎日音楽コンクール第二位

新日フィル首席

元デュッセルドルフ響首席、武蔵野音  
大講師、芸大非常勤講師

N響、洗足学園大、武蔵野音大非常勤  
講師

東京都響首席

フランス国立ルエイユ・マルメゾン音  
楽院卒

第三十二回毎日音楽コンクール第三位、  
安宅賞受賞

読響 アカデミカーアンサンブル

神奈川フィル、玉川大講師

バンムジーク国際コンクール第二位

ロン・ティボーコンクール第二位

第三十三回毎日コンクール室内楽曲部  
門第一位、作陽短大客員教授

新星日響首席指揮者、芸大助教

シヨパンコンクール特別銀賞

ロン・ティボーコンクール第二位

シヨパンコンクール第五位

メシアンコンクール第二位、モンツァ

小山実稚恵 コ コンクール第一位  
チャイコフスキーコンクール第三位(一位なし)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校オーケストラ  
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業生有志オーケストラ

アンリエット・ピュイグロジエ

ピアノ独奏と指揮 芸大客員教授 パリ国立音楽院名誉教授  
(特別出演)

北島 章 OP N響首席、芸高非常勤講師(賛助出演)

昭和五十九年十月十八日(木)

●式典 附属音楽高等学校 三階ホール(11:00~12:00)

1. 開式 (清野副校長)

2. 奏楽 ベートーベン「自然における神の栄光」

3. 式辞 (松野校長)

4. 祝辞 (福井直俊前学長、矢島健治全日本音楽教育研究会  
高校部会会長代行、海老沢敏全国音楽高校協議会  
理事長、福井直敬全日本音楽教育研究会会長ほか)

5. 感謝状贈呈 (山本学長)

6. 奏楽 ハイドン「天地創造」より「御空は語る神の栄誉」  
ソプラノ 牧野美紀子 テノール 三林輝夫

7. 閉式  
バリトン 外山浩爾  
指揮 飯吉靖彦  
合唱 附属音楽高校合唱団  
管弦楽 附属音楽高校管弦楽団

●祝賀会 東京ガーデンパレス(湯島会館)(13:00~15:00)

1. 開会

2. お祝いの言葉

3. お礼の言葉

4. 鏡割り

5. 乾杯

6. 懇談

7. 万歳三唱

8. 閉会

#### 記念事業

1. 創立三十周年記念誌の作成刊行

2. 同窓会会員名簿の作成刊行

3. 歴代校長・教頭の写真額の作成

4. 校旗の作製

5. 同窓会主催による定期演奏会開催のための基金

6. 記念品作成

7. その他

(横組)

〔藝高三十年のあゆみ〕東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校 昭和五十九年十月 八二～八八頁

次に歴代校長、教頭、常勤職員を記す。

歴代校長・教頭（副校長）

歴代校長

在任期間

|     |       |        |        |
|-----|-------|--------|--------|
| 初代  | 城多又兵衛 | 昭29・4  | 昭31・10 |
| 第二代 | 田尾 一  | 昭31・11 | 昭34・6  |
| 第三代 | 小沢 弘  | 昭34・6  | 昭44・3  |
| 第四代 | 兎束龍夫  | 昭44・4  | 昭47・3  |
| 第五代 | 長谷川良夫 | 昭47・4  | 昭50・3  |
| 第六代 | 渡邊高之助 | 昭50・4  | 昭57・3  |
| 第七代 | 松野景一  | 昭57・4  | 昭60・3  |
| 第八代 | 田村 宏  | 昭60・4  | 昭平3・3  |

歴代教頭（昭和五十年十月より副校長兼務）

在任期間

|     |      |       |       |
|-----|------|-------|-------|
| 初代  | 新野仁助 | 昭33・1 | 昭43・3 |
| 第二代 | 清野澄夫 | 昭43・4 | 昭60・3 |
| 第三代 | 戸川栄一 | 昭60・4 | 昭62・3 |
| 第四代 | 外山浩爾 | 昭62・4 | 昭平5・3 |

| 職名／教科   | 氏名     | 在職期間   |
|---------|--------|--------|
| 校長、声乐   | 渡邊高之助  | 昭50・4  |
| 校長、P    | 松野景一   | 昭57・4  |
| 校長、P    | 田村 宏   | 昭60・4  |
| 教頭、一般音楽 | 新野仁助   | 昭29・4  |
| 副校長、音楽  | 清野澄夫   | 昭43・4  |
| 副校長、教頭  | 戸川 栄一  | 昭45・4  |
| 副校長、教頭  | 外山浩爾   | 昭30・5  |
| 国語      | 和久和一   | 昭29・9  |
| 国語      | 下玉利百合子 | 昭47・4  |
| 数学・物理   | 三浦道雄   | 昭50・4  |
| 数学・物理   | 小林英男   | 昭54・4  |
| 保健体育    | 本多英男   | 昭44・4  |
| 英語      | 中山義勝   | 昭31・4  |
| 英語      | 小山二郎   | 昭32・10 |
| 英語      | 山田昭二   | 昭36・6  |
| 英語      | 利沢幸雄   | 昭39・1  |
| 英語      | 中島敏雄   | 昭43・4  |
| 作曲・音楽理論 | 大野秀夫   | 昭58・4  |
| 作曲・音楽理論 | 北村 昭   | 昭60・4  |
| 独語      | 横溝節男   | 昭31・4  |
| 仏語      | 会津洋    | 昭36・6  |

S O 1・声楽  
事務主任 長 恭子 昭43・3 } 51・3  
伊藤良平 昭29・4 } 29・8  
昭45・4 } 50・11

戸塚岸男 昭40・4 } 45・3  
昭50・11 } 55・3

倉田公之 昭55・4 } 56・3  
昭56・4 } 61・3

遠山泰子 昭61・4 } 平4・3  
昭47・4 } 49・3

中村雅子 昭46  
昭32・4 } 35・5

正木静子 昭46  
昭47・4 } 49・3

海老原聖美 昭46  
昭47・4 } 49・3

松本すみ子 昭54  
昭46  
昭47・4 } 49・3

野村淳子 昭54  
昭46  
昭47・4 } 49・3

野間三枝 昭54  
昭46  
昭47・4 } 49・3

矢部久美子 昭55  
昭46  
昭47・4 } 49・3

榎田伸子 昭56  
昭46  
昭47・4 } 49・3

西川恵美子 昭62  
昭46  
昭47・4 } 49・3

林保男 昭39  
昭46  
昭47・4 } 49・3

小松権太郎 昭34  
昭46  
昭47・4 } 49・3

林五郎 昭37  
昭46  
昭47・4 } 49・3

石井久五郎 昭42  
昭46  
昭47・4 } 49・3

菊地マサ 昭37  
昭46  
昭47・4 } 49・3

児玉憲一 昭56  
昭46  
昭47・4 } 49・3

藤原糸 昭61  
昭46  
昭47・4 } 49・3

中野渡久子 昭62  
昭46  
昭47・4 } 49・3

〔横組〕

〔創立四十周年記念誌 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校 平成六年 七七  
八〇頁〕

〔校外演奏会一覽〕

昭和三十一年 七月 校外演奏旅行(仙台・盛岡・釜石・宮古)

昭三十二年 七月 校外演奏旅行(岡山・玉野・高松・松山)

昭三十三年 七月 校外演奏旅行(京都・大阪・奈良・天理)

昭三十四年 七月 校外演奏旅行(佐賀・長崎・八幡)

昭三十八年 六月 芸高創立十周年記念演奏会(於東京文化会館小ホール)

昭四十六年 十月 校外演奏旅行(於土浦市民会館)

昭四十七年 九月 音楽鑑賞教室開催(新宿厚生年金ホール)

昭四十七年 三月 校外演奏旅行(於上越市厚生市民会館・山梨県民会館)

昭四十七年 十月 校外演奏会(於実践女子学園)

昭四十八年 九月 音楽鑑賞教室開催(新宿厚生年金ホール)

昭四十八年 十月 校外演奏旅行(於上越市厚生会館・上越市厚生市民会館・郡山市民会館)

昭四十九年 十月 学習院主催の演奏会(於渋谷公会堂)

昭五十年 十一月 校外演奏会(於中野区文化センター)

昭五十年 十月 校外演奏会(新宿区立落合第四小学校)

昭五十年 十月 校外演奏旅行(於山梨県立甲府第二高等学校・山梨県立韭崎高等学校)

昭五十一年 十月 校外演奏会(於横浜市立汐見台中学校)

昭五十一年 十一月 校外演奏旅行(於甲府山梨英和学院)

昭五十二年 十一月 校外演奏会(於中野文化センター)

昭五十三年 十一月 全日音研全国大会高校部会、研究演奏(於武蔵野)

音楽大学ベートーヴェンホール)

昭和五十六年 十月 校外演奏旅行(於宮城県石巻中学校・宮城県虻田中

学校・宮城県立飯野川高校)

〃 五十七年十一月 校外演奏旅行(於山梨県民会館)

〃 五十八年 校外演奏旅行(於富士五湖文化センター)

〃 五十九年 芸高創立三十周年記念演奏会(於東京文化会館)

〃 六十年 十月 校外演奏会(山梨県立甲府第一高等学校創立十五

周年、於山梨県民文化ホール)

〃 六十年 十月 響親会定期演奏会(於東京簡易保険ホール)

〃 六十年 十月 校外演奏会(山梨県立山梨高等学校芸術鑑賞会、

於県民文化ホール)

〃 六十一年十一月 校外演奏会(山梨県立吉田高等学校芸術鑑賞会、

於富士五湖文化センター)

〃 六十二年 十月 校外演奏会(山梨県立日川高等学校教養行事オー

ケストラコンサート、於同校体育館)

〃 六十二年十一月 校外演奏会(静岡県立吉原高等学校芸術鑑賞会、

於吉原市民会館ホール)

〔校内で行われた講演会、および公開レッスン一覧〕

昭和四十八年五月 金田一春彦氏を招いて講演会

〃 五十一年十二月 糸川英夫氏を招いて講演会

〃 五十三年二月 ゲルハルト・ボッセ氏来校、オーケストラ指導

〃 五十四年九月 伊藤毅氏(早稲田大学教授)を招いて講演会

〃 五十六年十一月 矢島稔氏(上野動物園水族館長)を招いて講演会

〃 六十二年十二月 ダヴィッド・ゲリンガス氏チェロ公開講座